

ControlPanel マニュアル 目次

トップページ.....	
ログイン方法.....	1
ユーザー権限について.....	2
ドメイン管理.....	
マルチドメインについて.....	5
個別ユーザー管理.....	
ユーザー情報.....	6
パスワード変更.....	8
受信済みメール削除.....	9
メールフィルター設定.....	10
メール自動返信設定.....	13
ウェブメール.....	14
ユーザー管理.....	
ユーザー登録.....	16
ユーザー一括登録.....	17
ユーザーCSV 管理.....	18
ユーザー編集.....	19
ユーザー削除.....	21
ユーザー切り替え.....	22
メールコントロール.....	
メールボックス使用量確認.....	24
ヴァーチャルメールアドレス.....	25
メーリングリスト.....	27
ウェブコントロール.....	
プレビューサーバー.....	32
アプリインストーラー.....	33
アクセス制限.....	36
アクセス解析.....	41
カスタムエラー.....	45
シングル URL.....	47
ユーティリティ.....	
データ移行ツール.....	49
ディスク使用量設定.....	50

ファイルマネージャ.....	51
コマンド検索.....	53
コマンドスケジューラ.....	54
perl モジュール検索.....	55
perl 文法チェック.....	56
データベース設定.....	57
DBmanager(PostgreSQL).....	58
DBmanager(MySQL).....	59

ログイン方法

プラン名 : ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : 契約者、ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

ControlPanel にアクセスする場合は以下の URL からアクセスしていただきます。

<https://cp.rental-sv2.jp/>

ControlPanel アクセス時の推奨ブラウザ

ControlPanel をご利用いただくうえで、推奨しているブラウザは下記のとおりです。

(Windows) IE6/7 以上、FireFox2.0 以上、Opera9 以上、Netscape7.1 以上

(Macintosh) Safari1.3 以上

[ドメイン名] [ログイン ID] [パスワード] をご記入のうえ、[ログイン] ボタンをクリックしてください。



ドメイン名	お客様のドメイン名を入力します。
ログイン ID	登録証に記載されている[ユーザー名]を入力してください。
パスワード	登録証に記載されている[パスワード]を入力してください。 作成した[ユーザー名]でログインする場合は、ユーザー作成時に指定したパスワードを入力します。

ユーザー権限について

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

ControlPanel にログインするユーザーは、以下の権限に属することになります。

ユーザーとその権限は以下の「契約者」「ドメイン管理者」「サイト管理者」「一般ユーザー」の 4 つになります。

ユーザー権限	できること			ユーザーの登録・削除
契約者	ドメイン名の切り替え	インフォメーション	ユーザー管理	ドメイン管理者
	メールコントロール	ウェブコントロール	ユーティリティ	サイト管理者
	アプリケーション	サポート	お手続き	一般ユーザー
	個別ユーザー管理			
ドメイン管理者	ドメイン名の切り替え	インフォメーション	ユーザー管理	サイト管理者
	メールコントロール	ウェブコントロール	ユーティリティ	一般ユーザー
	アプリケーション	サポート	お手続き	
	個別ユーザー管理			
サイト管理者	ドメイン名の切り替え	インフォメーション	ユーザー管理	できない
	メールコントロール	ウェブコントロール	ユーティリティ	
	アプリケーション	サポート	お手続き	
	個別ユーザー管理			
一般ユーザー	ドメイン名の切り替え	インフォメーション	ユーザー管理	できない
	メールコントロール	ウェブコントロール	ユーティリティ	
	アプリケーション	サポート	お手続き	
	個別ユーザー管理			

権限設定一覧

●:利用可

○:メールアドレスが割り当てられている場合のみ利用可

-:利用不可

設定項目	契約者	ドメイン管理者	サイト管理者	一般ユーザー
インフォメーション				
サービス情報	●	●	-	-
キャンペーン情報	●	●	-	-
サポート情報	●	●	-	-
ユーザー管理				
ユーザー登録	●※1	●※2	-	-
ユーザー一括登録(※3)	●	●	-	-
ユーザーCSV管理	●※1	●※2	-	-
ユーザー編集	●	●	-	-
ユーザー削除	●	●	-	-
個別ユーザー管理				
ユーザー情報	-	●	●	●
パスワード変更	-	●	●	●
受信済メール削除	-	○	○	○
メールフィルター設定	-	○	○	○
メール自動返信設定	-	○	○	○
ウェブメール	-	○	○	○
メールコントロール				
メールボックス使用量確認	●	●	-	-
ヴァーチャルメールアドレス	●	●	-	-
メーリングリスト	●	●	-	-
ウェブコントロール				
プレビューサーバー	●	●	●	-
アプリインストーラー	-	●	●	-
アクセス制限	●	●	●	-
アクセス解析	●	●	●	-
カスタムエラー	●	●	●	-
シングルURL	●	●	●	-
ユーティリティ				
データ移行ツール	●	●	●	-
ディスク使用量設定	●	●	-	-
ファイルマネージャ	●	●	●	-
コマンド検索	●	●	●	-
コマンドスケジューラ	●	●	-	-

perl モジュール検索	●	●	●	—
perl 文法チェック	●	●	●	—
データベース設定	●	●	—	—
DBManager(PostgreSQL)	●	●	—	—
DBManager(MySQL)	●	●	—	—

※1. ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー作成可

※2. サイト管理者、一般ユーザー作成可

マルチドメインについて

複数のドメインを1台のサーバーで管理するマルチドメインを利用することができます。
マルチドメインを利用することで、〇〇〇.jp や△△△△.com 等の、異なる複数のドメイン名を1つの ControlPanel 上で管理することが可能になります。

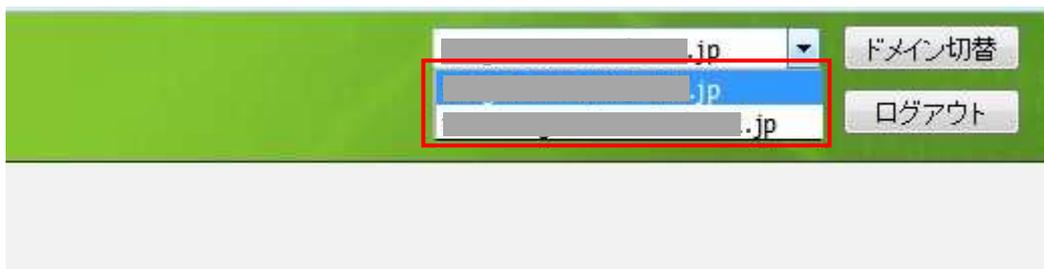
マルチドメインの利用方法

マルチドメインをご契約されると、ControlPanel の右上に、下図のような[ドメイン切替]ボタンが表示されます。
※[ドメイン切替]のボタンが表示されるのは、ControlPanel に[契約者アカウント]でログインした場合となります。

表示されない場合には、[契約者アカウント]でログインされているかをご確認ください。



プルダウンメニューをクリックすると、下図のように設定されたマルチドメインの一覧が表示されます。



ここでドメインを選択し、[ドメイン切替]ボタンをクリックすることで、選択したドメインのサーバー管理を行うことが可能です。

■個別ユーザー管理

ユーザー情報

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

現在ログインしているユーザーの情報が表示されます。

ログインしているユーザーの権限により、メニュー表示などが多少異なります。

[ドメイン管理者ユーザーの場合]

[サイト管理者ユーザーの場合]

[一般ユーザーの場合]

The screenshots show the '個別ユーザー管理' (Individual User Management) menu in the Control Panel. For Domain Administrators, the menu includes options like 'ユーザー情報', 'パスワード変更', '受信済メール削除', 'メールフィルタ設定', and 'メール目録返信設定'. For Site Administrators, it includes 'ユーザー情報', 'パスワード変更', and '受信済メール削除'. For General Users, it includes 'ユーザー情報', 'パスワード変更', and '受信済メール削除'. The '受信済メール削除' option is highlighted in red in the General User screenshot.

契約者アカウントでログインした場合、[個別ユーザー管理]メニューが表示されないため、下記の手順にてお進みください。

The screenshot shows the 'ユーザー切り替え' (Switch User) option highlighted in red in the left-hand menu. An arrow points to the right-hand panel, which displays the 'ユーザー切り替え' (Switch User) page. This page shows a list of users with columns for '選択' (Select), 'ユーザー名' (User Name), 'ユーザー権限' (User Role), and 'コメント' (Comment). The 'ユーザー切り替え' (Switch User) option is highlighted in red in the left-hand menu.

ユーザー登録時にメールアドレスを作成していない場合、メール情報は表示されません。

[一般ユーザー・ウェブサイトを利用しない]を選択した場合、ウェブ情報は表示されません。

基本情報	
1 ユーザー名	ftpuser
2 コメント	マニュアル作成用
3 ユーザー権限	サイト管理者 管理するウェブサイト www. [redacted].jp
eメール情報	
4 eメールアドレス	ftpuser@[redacted].jp
5 POPアカウント	ftpuser@[redacted].jp
6 パスワード	お客様のログインパスワード
7 POPサーバー	pop.[redacted].jp ([redacted])
8 IMAPサーバー	imap.[redacted].jp ([redacted])
9 SMTPサーバー	smtp.[redacted].jp ([redacted])
10 メールボックス使用量	0.0 MB
11 eメール数 (受信済/未受信)	0 / 0
12 ウェブメールのURL	https://[redacted].jp/
ウェブ情報	
13 DocumentRoot(絶対パス)	/home/users/[redacted]/www.[redacted].jp
14 FTPアカウント	ftpuser@[redacted].jp
15 パスワード	お客様のログインパスワード
16 FTPサーバー	fto.[redacted].jp ([redacted])
17 ウェブサーバー IPアドレス	192.0.2.5
18 共用SSL URL	https://[redacted].jp/www.[redacted].jp/

基本情報		
1	ユーザー名	現在ログインされているユーザー名です。
2	コメント	ユーザー登録時にコメント欄に記載している場合、表示されます。 ※ユーザー編集画面にてコメントの変更・削除が可能です。
3	ユーザー権限	ユーザーに割り当てられた権限で、ドメイン管理者・サイト管理者・一般ユーザーのいずれかが表示されます。 サイト管理者・一般ユーザーで、[管理するウェブサイト]を登録している場合、URL が表示されます。

eメール情報		
4	eメールアドレス	メールアドレスです。
5	POP アカウント	メールソフトに設定する際の[ID 欄]や[アカウント名欄]に設定します。
6	パスワード	メールソフトに設定する際の[パスワード]に設定します。
7	POP サーバー	ユーザーに割り当てられた POP サーバー名で、メールソフトには POP サーバー名か IP アドレス(括弧内の数字)のいずれかを設定します。
8	IMAP サーバー	ユーザーに割り当てられた IMAP サーバー名で、メールソフトには IMAP サーバー名か IP アドレス(括弧内の数字)のいずれかを設定します。
9	SMTP サーバー	ユーザーに割り当てられた SMTP サーバー名で、メールソフトには SMTP サーバー名か IP アドレス(括弧内の数字)のいずれかを設定します。
10	メールボックス使用量	ユーザーが使用しているディスク使用量となります。
11	eメール数(受信済/未受信)	受信済/未受信 のメール数が表示されます。
12	ウェブメールの URL	ウェブメールを利用する設定になっている場合、ログイン URL が表示されます。 左上のメニューの[個別ユーザー管理の[ウェブメール]からもログインできます。

ここから下は、ドメイン管理者・サイト管理者のみ表示される項目です。

ウェブ情報		
13	DocumentRoot(絶対パス)	割り当てられた DocumentRoot が表示されます。
14	FTP アカウント	ユーザーに割り当てられたアカウントで、FTP ソフトに設定する際の[ID 欄] [アカウント欄]に設定します。
15	パスワード	ユーザーに割り当てられたパスワードで FTP ソフトに設定する際にも使用します。
16	FTP サーバー	割り当てられた FTP サーバーで、FTP ソフトには FTP サーバー名か IP アドレス(括弧内の数字)のいずれかを設定します。
17	ウェブサーバー IP アドレス	割り当てられたウェブサーバー IP アドレスが表示されていますが、共用サーバーのため、IP アドレスではウェブサイトへのアクセスはできません。
18	共用 SSL URL ※共用 SSL がご利用いただけ ないプランの場合、 表示されません。	割り当てられた共用 SSL URL を確認することができます。 ご利用のドメイン名の前に、共用 SSL サーバー名が入ります。

パスワード変更

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

ユーザーのログインパスワードを変更します。

使用する文字は A-Z、a-z、0-9 を合わせ、6 文字以上最大 32 文字までです。パスワードは、確認のため 2 回入力してください。ユーザーが利用するメールアドレスや FTP アカウントなどのパスワードを必要とするサービスはこのログインパスワードと共通となります。

各ユーザー(ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー)が各自でパスワードを変更する場合

ControlPanel に、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力してログインし、左側メニューの[パスワード変更]をクリックします。新しいパスワードを 2 回入力し、[設定の保存]ボタンをクリックします。

契約者アカウントまたはドメイン管理者で ControlPanel にログインして、各ユーザーのパスワードを変更する場合

ControlPanel にログイン後、[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー編集]を選択し、パスワードを変更したいユーザー名の右側の[編集]ボタンをクリックします。

編集画面内の[パスワード]欄に新しいパスワードを入力し、[設定の保存]ボタンをクリックします。

※変更せずに終了する場合は、画面左下の[戻る]ボタンをクリックすると、変更されずに終了できます。

受信済メール削除

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

受信済メールをすべて削除します。

受信済メールとは、ユーザーがメールソフトを使ってサーバーから受信したメールのことです。

・受信方式:POP 接続の場合

※メールソフトにて「サーバーにメッセージのコピーを残す」設定にしている場合にのみ、サーバーに受信済メールが残ります。
メールソフトに受信したメールが配送されているため、受信済メールを削除してもメールソフト上でメールの確認ができます。

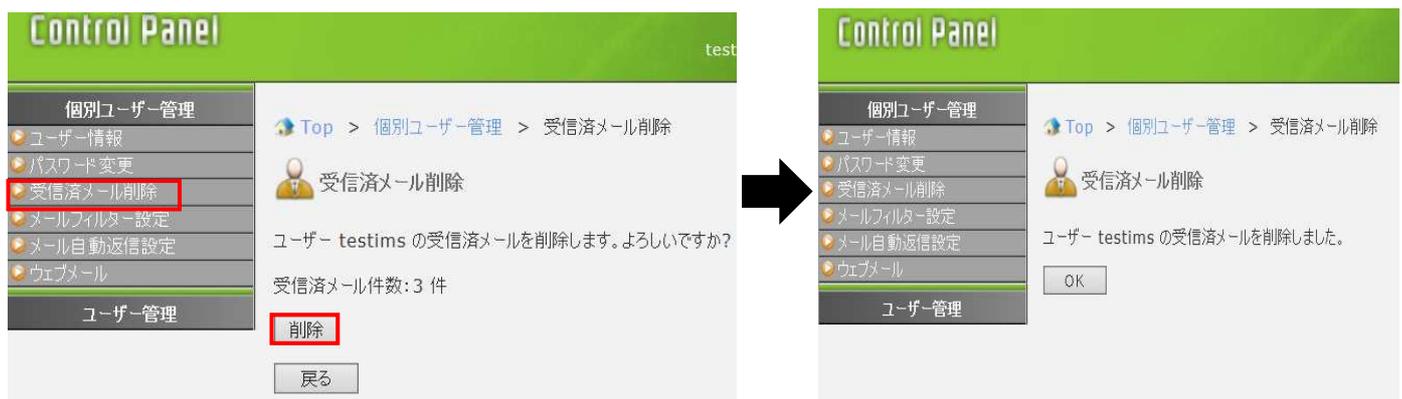
・受信方式:IMAP 接続の場合

受信済メールを削除するとメールソフトからの確認もできなくなりますので、削除の際にはご注意ください。

各ユーザーの ID とパスワードで ControlPanel にログインし、[受信済メール削除]メニューをクリックします。

受信済メールがある場合、[受信済メール件数:〇件]と表示されますので、削除する場合には[削除]ボタンをクリックします。

※受信済メールがない場合には、[削除する受信済メールがありません。]と表示されます。



メールフィルター設定

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

メールフィルター設定一覧

お客様のメールアドレスへ送信されるメールに対して、設定された条件によって自動的に削除、エラーメールを返信、指定されたメールアドレスへ転送等の処理を行うフィルターを設定します。

また、特定の送信者からのメールを迷惑メールとして扱い、自動的に削除、エラーメールを返信する迷惑メールフィルターの設定もここでできます。

迷惑メールフィルターは、常にほかのメールフィルタールールよりも先に適用されます。

メール自動返信が設定されている場合、メールフィルタールールの動作が[自動削除する]、[エラーメールを返す]に設定されているルールを適用後、メール自動返信処理が行われます。

メール転送は行われませんので、ご注意ください。

各ユーザーの ID とパスワードで ControlPanel にログインし、[メールフィルター設定]メニューをクリックします。

1	新規迷惑メールフィルターを登録	特定の送信者からのメールを迷惑メールとして扱い、自動的に削除、エラーメールを返信します。 登録できる迷惑メールフィルターは 200 件です。プロファイルは 1 件です。
2	新規メールフィルターを登録	送信されてくるメールに対し、設定された条件によって自動的に削除、エラーメールを返信、指定されたメールアドレスへ転送等の処理を行います。 登録されたメールフィルターの適用順序は最後になります。
3	No	登録されている迷惑メールフィルターの項番です。メール受信時は、この順番によって処理されます。
4	プロファイル名	プロファイル名は、登録されたメールフィルターを管理するうえでの便宜上のもので、設定には反映されません。 迷惑メールフィルターのプロファイルは“迷惑メールフィルター”固定となり、最上位に表示されます。
5	詳細設定	メールフィルター、迷惑メールフィルターの設定を変更する場合は、変更するフィルターの[詳細設定]ボタンをクリックしてください。
6	削除	メールフィルター、迷惑メールフィルターを削除する場合は、削除するフィルターの“削除”ボタンをクリックしてください。

迷惑メールフィルター登録

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

特定の送信元からのメールを迷惑メールとして扱い、受信拒否することができるフィルターです。
迷惑メールフィルターは、メールフィルターより優先されます。

各ユーザーの ID とパスワードで ControlPanel にログインし、[メールフィルター設定]メニューをクリック、
[新規迷惑メールフィルターを登録]ボタンをクリックします。

1	プロフィール名	プロフィール名は、登録されたメールフィルターを管理するうえでの便宜上のもので、設定には反映されません。迷惑メールフィルターではこのプロフィール名は“迷惑メールフィルター”となります。
2	迷惑メールリスト	拒否したい送信元のドメイン名またはアドレスを1行ずつ入力してください。なお、リストは200個まで有効です。 【設定例】※ who@example.org “who@example.org” から送信されるすべてのメールを受信拒否します。 .org “から送信されるすべてのメールを受信拒否します。 example.org “から送信されるすべてのメールを受信拒否します。
3	自動削除する	条件に一致したメールを自動的に削除する場合には選択します。 受信したメールをサーバーへ保存しないで破棄します。
4	エラーメールを返す	条件に一致したメールの送信者にエラーメールを返信する場合には選択します。 受信したメールの送信者へエラーメールを送信し、受信したメールはサーバーに保存されません。

※@ を含めずに設定すると、例えば “example-example.org” などのような、まったく異なるドメイン名もマッチしてしまいます。
確実に特定のドメイン名に限定したい場合には “@example.org” のように設定してください。

また、“admin@ドメイン名”を登録すると、メーリングリストでご利用の“ml名-admin@ドメイン名”も該当してしまい、メーリングリストが正しく機能しなくなりますのでご注意ください。

各項目を入力後、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

メールフィルター設定

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ、S、M、L

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

メールフィルターを登録することで、受信したメールを条件に応じて転送、自動削除、エラーメール返信することができます。

メールフィルターは、設定された適用順序に従って処理されます。

迷惑メールフィルターの登録やメール自動返信の登録がある場合、メールフィルターの適用順序が以下のように変更されます。

- ①迷惑メールフィルター
- ②動作が“自動削除する”、“エラーメールを返す”のメールフィルター
- ③メール自動返信

各ユーザーの ID とパスワードで ControlPanel にログインし、[メールフィルター設定]メニューをクリック、[新規メールフィルターを登録]ボタンをクリックします。



お客様が受信したeメールを、条件に応じて自動的に処理するメールフィルターを登録します。条件、動作を設定し、設定の保存ボタンをクリックしてください。

プロファイル名	<input type="text"/>
条件	<input checked="" type="radio"/> すべてのeメール
	<input type="radio"/> eメールのサイズが <input type="text"/> KB <input type="text"/> 以上
	<input type="radio"/> eメールのヘッダー [送信者(From)] (<input type="text"/>) が <input type="text"/> で始まる <input type="text"/> が ヘッダーで"その他"を選択した場合、()内のテキストボックスにヘッダーを入力してください。
動作	<input type="radio"/> 自動削除する
	<input type="radio"/> エラーメールを返す
	<input checked="" type="radio"/> eメールを転送する
	<input type="checkbox"/> eメールをメールボックスに残す

戻る リセット 設定の保存

1	プロファイル名	メールフィルターに名前を付けます。 プロファイル名は、登録されたメールフィルターを管理するうえでの便宜上のもので、設定には反映されません。
2	[条件]すべてのeメール	受信したすべてのメールに、このメールフィルターを適用します。 こちらを選択した場合、適用順序がこのメールフィルターより後のメールフィルターは適用されません。
3	[条件]eメールのサイズ	受信したメールのうち、メールのサイズが設定されたサイズ以上、または以下のものに このメールフィルターを適用します。 サイズはKBで指定し、設定されたサイズと比較して“以上”か“以下”かを選択してください。
4	[条件]eメールのヘッダー	受信したメールのヘッダーと設定された文字列の比較結果に従ってこのメールフィルターを適用します。 まず、比較するメールのヘッダーを選択します。目的のヘッダーがない場合、“その他”を選択し、 括弧内のテキストエリアに“X-Mailer:”等のように入力してください。 2行目のテキストボックスには、ヘッダーの文字列の中で一致させる文字列を“ABC Mailer”のように入力します。 入力した文字列がメールヘッダーのどこに一致するのかわ、2行目のリストから選択してください。
5	[動作]自動削除する	条件に一致したメールを自動的に削除する場合に選択します。 受信したメールをサーバーへ保存しないで破棄します。
6	[動作]エラーメールを返す	条件に一致したメールの送信者にエラーメールを返信する場合に選択します。 受信したメールの送信者へエラーメールを送信し、受信したメールはサーバーに保存されません。
7	[動作]メールを転送する	条件に一致したメールを指定されたメールアドレスへ転送します。 転送先メールアドレスは1件以上入力してください。 受信したメールを転送し、そのメールをサーバーに残しておきたい場合は、[メールをメールボックスに残す] をチェックしてください。(チェックを入れない場合、メールは転送先しにしか配送されません。)

各項目を入力後、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

メール自動返信設定

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

メール自動返信の設定をしておく、メールを受け取った際に、送信者に自動的にあらかじめ設定しておいたメールの内容を返信することができます。

メールフィルター設定で、動作が[自動削除する]、[エラーメールを返す]に設定されているルールが存在する場合、それらを適用後、メール自動返信処理を実行します。
メール転送は行われませんので、ご注意ください。

1	Subject	自動返信メールのメールタイトルに対応します。英語、日本語共に使用できます。
2	From	自動返信メールの差出人に対応します。お客さまのメールアドレスをそのまま入力します。 ※初期値では、ログインしたユーザーのメールアドレスが記載されています。 日本語は使用できません。
3	Reply-To	自動返信メールの返信用アドレスに対応します。通常は空欄のままにしておきます。 この設定は、自動返信メールを受け取った受信者がさらに返信をする際に、 From: で指定されたメールアドレスとは異なるメールアドレスに返信させる場合に入力します。 なお、書式は From: と同様になります。
4	本文	返信するメールの本文を入力します。本文の最大サイズは 10KB です。
5	メール自動返信を有効にする	チェックを入れると自動返信メールが配送されます。

各項目を入力後、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

ウェブメール

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー

各ユーザーが直接ログインする場合

STEP1 ControlPanel にウェブメールを利用するユーザーのアカウントでログイン後、[個別ユーザー管理]メニュー内の[ウェブメール]をクリックすると、ログイン画面が立ち上がります。

※ウェブメールの URL をブラウザのお気に入り登録しておく、次回より直接ウェブメールのログイン画面に進むことができます。



STEP2 各ウェブメールのログイン画面が表示されますので、情報を入力してログインボタンをクリックします。



ユーザー名	メールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード ※ControlPanel にログインしたパスワード

契約者アカウントからログインする場合

STEP1 [ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー切り替え]をクリックし、利用したいユーザーを選択して[切り替え]ボタンをクリックします。

選択	ユーザー名	ユーザー権限	コメント
<input checked="" type="radio"/>	[ユーザー名]	ドメイン管理者	
<input type="radio"/>	[ユーザー名]	サイト管理者	
<input type="radio"/>	[ユーザー名]	一般ユーザー	
<input type="radio"/>	[ユーザー名]	一般ユーザー	
<input type="radio"/>	[ユーザー名]	一般ユーザー	

STEP2 [個別ユーザー管理]メニュー内の[ウェブメール]をクリックすると、ログイン画面が立ち上がります。



■ユーザー管理

ユーザー登録

プラン名 : ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : 契約者、ドメイン管理者

ユーザー登録では、登録するユーザーの権限の設定や所属する Web サイト、メールの作成等ができます。
ControlPanel にログイン後、[ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー登録]をクリックします。

1	ユーザー名	ControlPanel へログインするユーザー名になります。 ・メールアドレスを作成する場合: 作成されるメールアドレスは“ユーザー名@ドメイン名”となります。 ・FTP アカウントを作成する場合: 作成される FTP アカウント名は“ユーザー名@ドメイン名”となります。 使用できる文字は a-z、0-9、ドット(.)、ハイフン(-)、アンダーバー(_) で、最大 32 文字までです。 ただし、先頭は a-z、0-9 のみ使用できます。
2	コメント	作成するユーザーに対してコメントを付けられます。コメントは省略可能です。 入力できる文字数は半角 64 文字(全角 32 文字)までです。コメントにはユーザーの管理をする際に 分かりやすいよう氏名・所属・利用目的等を入力することをおすすめします。
3	パスワード	作成するユーザーのログインパスワードを設定します。使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 で、6 文字以上 32 文字までです。 セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。 なお、メールや FTP などのパスワードが必要なサービスを利用する場合も、このログインパスワードを 使用します。パスワードが何も入力されていないとき、 [自動生成ボタン] をクリックすると 8 文字のパスワードが自動発行されます。
4	[ユーザー権限] 一般ユーザー	メールアドレスのみ必要なユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 なお、[所属するウェブサイト]で対象ドメイン名を選択すると、ウェブ領域にそのユーザー専用の ディレクトリーが作成されて、そのディレクトリーに対してのみ FTP でアクセスすることができます。
5	[ユーザー権限] サイト管理者	サイトの管理権限を付与するユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 [管理するウェブサイト]で対象サイトを選択すると、サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスする ことができます。FTP アクセス権限を付与しつつ、メールアドレスを利用しない設定も可能です。
6	[ユーザー権限] ドメイン管理者	ドメイン名内の全サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスすることができます。 また自分の管理するドメイン名において、サイト管理者および一般ユーザーを作成することができます。
7	eメールアドレス	ユーザー名をメールアドレスとして使用することが可能です。メールアドレスを作成するか選択してください。

各項目を入力またはチェックを入れた後に[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

ユーザー一括登録

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

ユーザー一括登録では、複数のユーザーを登録できます。ここで作成できるユーザーの権限は“一般ユーザー”のみとなります。

The image shows the Control Panel interface on the left and a detailed configuration form on the right. The interface includes a sidebar with 'ユーザー管理' (User Management) selected, and a main area with 'ユーザー一括登録' (Bulk User Registration) highlighted. The configuration form on the right is titled '設定内容' (Setting Content) and includes the following fields:

- ユーザー権限: 一般ユーザー
- eメールアドレス: 作成する 作成しない
- 所属するウェブサイト: [ウェブサイトを利用しない]
- パスワード自動生成:
- Table with 3 columns: ユーザー名 (4), パスワード (5), コメント (6). Each row has input fields for these fields.
- Buttons: リセット, 設定の保存, 戻る

1	メールアドレス	ユーザー名をメールアドレスとして使用することが可能です。メールアドレスを作成するかを選択してください。この設定は、作成するユーザーすべてに適用されます。
2	所属するウェブサイト	対象ドメイン名を選択すると、ウェブ領域にそのユーザー専用のディレクトリーが作成され、そのディレクトリーに対してのみ FTP でアクセスすることができます。
3	パスワード自動生成	パスワードに何も入力されていない場合、8文字のパスワードが自動発行されます。
4	ユーザー名	ControlPanel へログインするユーザー名になります。 ・メールアドレスを作成する場合、作成されるメールアドレスは“ユーザー名@ドメイン名”となります。 ・[所属するウェブサイト]でドメイン名を選択した場合の FTP アカウント名は“ユーザー名@ドメイン名”となります。 使用できる文字は a-z、0-9、ドット(.)、ハイフン(-)、アンダーバー(_) で、最大 32 文字までです。 ただし、先頭は a-z、0-9 のみ使用できます。
5	パスワード	作成するユーザーのログインパスワードを設定します。使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 で、6 文字以上 32 文字までです。 セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。 なお、メールや FTP などのパスワードが必要なサービスを利用する場合も、このログインパスワードを使用します。
6	コメント	作成するユーザーに対してコメントを付けられます。コメントは省略可能です。 入力できる文字数は半角 64 文字(全角 32 文字)までです。コメントにはユーザーの管理をする際に分かりやすいよう、氏名・所属・利用目的等を入力することをおすすめします。

入力後、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。登録が完了すると、入力された設定内容が表示されます。

ユーザーCSV 管理

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

ユーザーを CSV 形式で登録することができます。またユーザーデータを CSV ファイルで出力することができます。

1	CSV ファイルアップロード	CSV 形式のユーザーファイルを読み込み、登録することができます。 [参照]をクリックしファイルを選択するか、入力フォームに読み込むファイル名を入力し、[登録]をクリックしてください。 ※CSV ファイルの書式については下記の“CSV データについて”を参照してください。 ※すでに作成しているユーザーを上書きすることはできません。
2	CSV ファイルダウンロード	現在登録されているユーザーデータを CSV ファイルへ出力します。 出力されるデータは、ログインユーザーより下の権限のユーザーデータのみです。 [ユーザーデータをダウンロード]をクリックすると、CSV ファイルの出力が実行されます。
3	テキスト一括登録	CSV データを直接入力する場合に使用します。 1 行に 1 ユーザーのデータを記述してください。“設定の保存”をクリックすると、登録が実行されます。 ※CSV データの書式については下記の“CSV データについて”を参照してください。

入力後、「登録」ボタンをクリックしてください。入力された設定内容でユーザーを作成します。

CSV ユーザー登録に関する注意

登録するユーザー数が多い場合、処理に時間がかかることがあります。

CSV ユーザー登録処理の処理状態および処理結果は、再度メニューの[ユーザーCSV 管理]をクリックすることで確認できます。

CSV ユーザー登録処理中は、その他のユーザー登録、削除処理の実行はできなくなります。

CSV データについて

CSV データの内容は以下ようになります。“各項目の説明”をお読みのうえ、CSV データを作成してください。

・書式:[ユーザー],[コメント],[パスワード],[メール],[権限],[対象サイト]

・各項目の説明

ユーザー	ユーザー名。
コメント	ユーザーについてのコメント。省略可。
パスワード	ユーザーのパスワード。使用できる文字は A-Z、a-z、0-9。
メール	ユーザーがメールを作成するか(作成する:1、作成しない:0)。
権限	ユーザーの権限。(一般ユーザー:0、サイト管理者:1、ドメイン管理者:2)。
対象サイト	管理、または所属するサイト。権限が 0 または 1 の場合のみ有効。

ユーザー編集

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

ユーザー編集 (トップ画面)

設定を変更するユーザーを一覧から選択し、編集します。

① ユーザー名	② ユーザー権限	③ コメント	④ 編集
	ドメイン管理者		編集
	サイト管理者		編集
	一般ユーザー		編集

一覧は、上位のユーザー権限を持つユーザーから表示され、同一ユーザー権限では、ユーザー名の昇順で表示されます。

ここで表示されるユーザーは、ログインユーザーの権限よりも下の権限を持つユーザーのみです。

1 ページの最大表示件数は 10 件です。

1	ユーザー名	登録されているユーザー名が表示されます。
2	ユーザー権限	登録されているユーザーの権限が表示されています。
3	コメント	登録されているユーザーのコメントが表示されます。
4	編集	編集するユーザーの“編集”ボタンをクリックしてください。 選択されたユーザーの編集画面へ遷移します。
5	検索	編集するユーザーを検索できます。 検索の対象となる項目は“ユーザー名”と“コメント”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。 入力された検索条件をすべて満たしたユーザーが表示されます。

ユーザー編集(編集画面)

ユーザー編集画面のトップで「編集」ボタンにより選択されたユーザーの設定を変更します。

ユーザーを編集します。
パスワードに使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 です。
コメントは省略可能です。
作成されるメールアドレスは<ユーザー名>@<ドメイン名>となります。

ユーザー名 ①	test01
コメント ②	<input type="text"/> ※省略可
パスワード ③	<input type="password"/>
ユーザー権限 ④	<input checked="" type="radio"/> 一般ユーザー
	⑤ 所属するウェブサイト <input type="text"/>
	<input type="radio"/> サイト管理者
	⑥ 管理するウェブサイト <input type="text"/>
	<input type="radio"/> ドメイン管理者
⑦	
メールアドレス ⑧	<input checked="" type="radio"/> 作成する <input type="radio"/> 作成しない

1	ユーザー名	編集するユーザー名が表示されます。※ユーザー名は変更できません。
2	コメント	ユーザーのコメントを変更できます。(コメントは省略可能です) 入力できる文字数は半角 64 文字(全角 32 文字)までです。 コメントにはユーザーの管理をする際に分かりやすいよう氏名・所属・利用目的等を入力することをおすすめします。
3	パスワード	ユーザーのログインパスワードを変更できます。 使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 で、6 文字以上 32 文字までです。 セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。 メールやFTPなどパスワードが必要なサービスを利用する場合も、このログインパスワードを使用します。
4	ユーザー権限	ユーザーに割り当てる権限を変更できます。 お客さまの契約内容によって、こちらの表示は変わります。
5	一般ユーザー	メールアドレスのみ必要なユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 なお、[所属するウェブサイト]で対象ドメイン名を選択すると、ウェブ領域にそのユーザー専用のディレクトリーが作成されて、そのディレクトリーに対してのみ FTP でアクセスすることができます。
6	サイト管理者	サイト(ホームページ)の管理権限を付与するユーザーの場合は、こちらの権限を設定してください。 [管理するウェブサイト]で対象サイトを選択すると、サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスすることができます。FTP アクセス権限を付与しつつ、メールアドレスを利用しない設定も可能です。
7	ドメイン管理者	ドメイン名内の全サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスすることができます。 また自分の管理するドメイン名において、サイト管理者および一般ユーザーを作成することができます。
8	メールアドレス	メールアドレスを作成するかを選択してください。 すでにメールを作成済みのユーザーに対して“作成しない”を選択した場合、 メールボックスに残っているメールは すべて削除されます のでご注意ください。

入力後、「設定の保存」ボタンをクリックしてください。入力された設定内容でユーザーを作成します。

ユーザーを以下のように編集しました。

ユーザー名	<input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
ユーザー権限	サイト管理者 管理するウェブサイト: <input type="text"/>
メールアドレス	作成する メールアドレス: <input type="text"/>
ウェブメール	使用する ウェブメールURL: <input type="text"/>

ユーザー削除

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

登録されているユーザーを削除することができます。

表示について

一覧は、上位のユーザー権限を持つユーザーから表示され、同一ユーザー権限では、ユーザー名の昇順で表示されます。ここで表示されるユーザーは、ログインユーザーの権限よりも下の権限を持つユーザーのみです。

1 ページの最大表示件数は 10 件です。

1	削除	削除するユーザーにチェックします。 削除は 1 ページごとに行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、 それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
2	ユーザー名	登録されているユーザー名が表示されます。
3	ユーザー権限	登録されているユーザーの権限が表示されています。
4	コメント	登録されているユーザーのコメントが表示されます。
5	検索	ユーザー名を検索して表示することができます。

削除するユーザーをチェックし、“チェックしたものを削除”ボタンをクリックすると、削除確認画面へ遷移します。削除確認画面で“削除”ボタンをクリックするとチェックしたユーザーがすべて削除されます。

【注意】

ユーザーを削除すると、そのユーザーのメールアドレスやサーバー上のメールがすべて削除されます。また、ウェブサイトのユーザーに関しては、ウェブサーバー上のホームディレクトリー以下がすべて削除されますのでご注意ください。

ユーザー切り替え

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

一時的にユーザーを切り替えて、別のユーザーでログインした状態になります。
ユーザーを切り替えることで、ログアウトすることなく別のユーザーの設定を変更することができます。
切り替えられるユーザーは、ログインしているユーザーよりも下位権限のユーザーです。

The screenshot shows the Control Panel interface. On the left, the 'ユーザー管理' (User Management) menu is highlighted, with 'ユーザー切り替え' (Switch User) selected. An arrow points to the right, showing a table of users. The table has columns for selection, user name, user rights, and comments. The fifth row is selected, and the '切り替え' (Switch) button is visible at the bottom right.

選択①	ユーザー名②	ユーザー権限③	コメント④
<input type="radio"/>	[Redacted]	ドメイン管理者	
<input type="radio"/>	[Redacted]	サイト管理者	
<input type="radio"/>	[Redacted]	一般ユーザー	
<input type="radio"/>	[Redacted]	一般ユーザー	
<input checked="" type="radio"/>	[Redacted]	一般ユーザー	
<input type="radio"/>	[Redacted]	一般ユーザー	

切り替えたいユーザーを選択し、[切り替え]を選択します。
選択したユーザーでログインしたときと同様の TOP 画面に切り替わります。

The screenshot shows the Control Panel interface after switching users. The top bar shows the current user as '[一般ユーザー]' and a 'ログアウト' (Logout) button. The left menu is now '個別ユーザー管理' (Individual User Management). The main content area shows 'ユーザー情報' (User Information) for the current user. It includes a table with '基本情報' (Basic Information) and 'ウェブ情報' (Web Information).

基本情報	
ユーザー名	[Redacted]
コメント	
ユーザー権限	一般ユーザー 所属するウェブサイト [Redacted]

ウェブ情報	
FTPアカウント	[Redacted]
パスワード	お客様のログインパスワード
FTPサーバー	[Redacted]
お客様URL	[Redacted]

表示について

一覧は上位のユーザー権限を持つユーザーから表示され、同一ユーザー権限では、ユーザー名の昇順で表示されます。
ここで表示されるユーザーは、ログインユーザーの権限よりも下の権限を持つユーザーのみです。
1 ページの最大表示件数は 10 件です。

1	ユーザー名	登録されているユーザー名が表示されます。
2	ユーザー権限	登録されているユーザーの権限が表示されています。
3	コメント	登録されているユーザーのコメントが表示されます。
4	検索	切り替えたいユーザーを検索できます。 検索の対象となる項目は“ユーザー名”と“コメント”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。 入力された検索条件をすべて満たしたユーザーが表示されます。

再度ユーザー切り替えを選択していただくことで元のユーザーに戻ることができます。



【注意】

各権限ユーザーとして設定できる項目は、「[ユーザー権限について](#)」をご参照ください。

ただし、ユーザー切り替え機能を用いる場合、特定の機能に限ってはご利用いただけません。

該当機能を利用できる各権限ユーザーとして、別途ログインして設定する必要がありますのでご了承ください。

■メールコントロール

メールボックス使用量確認

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

登録されているメールユーザーの一覧と、メールボックス全体の使用率が表示されます。

また、対象ユーザーの右側の[削除]ボタンから、サーバーに保存されている受信済みのメールを削除できます。

未受信のメールは ControlPanel から削除できません。

Control Panel

Top > メールコントロール > メールボックス使用量確認

メールボックス使用量確認

メールボックスの使用量を表示します。使用量には各種設定ファイルも含まれます。全体使用率の更新を行うと、その後一定時間更新は行いません。マルチドメインをご利用のお客さまは、合算した使用量が表示されます。

更新

全体使用率 - MB / 1000 MB (- %) 0% 100%

総数 5 件 [1]

ユーザー名	コメント	eメール数		使用状況	受信済メール削除
		未受信	受信済		
		0	0	0.0 MB	削除
		0	0	0.0 MB	削除
		0	0	0.0 MB	削除
		0	0	0.0 MB	削除
		0	0	0.0 MB	削除

表示について

ディスクを多く使用しているユーザーから表示されます。1 ページに最大 10 件まで一覧表示されます。

1	全体使用率	お客さまのご契約で利用できるメールの最大容量と現在の使用量が数値とグラフで表示されます。
2	更新	[更新]ボタンを押下すると全体使用率が最新の情報に更新されます。 再度更新したい場合には、1 時間経過後に再び押下できます。
3	検索	任意のユーザーを検索できます。検索の対象となる項目は“ユーザー名”と“コメント”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。 なお、検索を行った場合、該当するユーザーが表示されますが、メール領域の使用率は全体表示のまま変わりません。
4	ユーザー名	メールを利用しているユーザー名が表示されます。
5	コメント	ユーザーのコメントが表示されます。
6	メール数 未受信/受信済み	現在サーバーに保存されている未受信、受信済みのメール件数が表示されます。 未受信: サーバーにメールが届いていてメールソフトで受信していないメール件数 受信済: サーバーにメールが届いていてメールソフトで受信しつつ、サーバーにメールが残っている件数
7	使用状況	現在サーバーに保存されているメールの総容量が表示されます。 ※リアルタイムでの表示ではないため、反映されるまで多少お時間を要します。
8	受信済メール削除	現在サーバーに保存されている受信済みのメールをすべて削除することができます。 [削除]ボタンをクリックすると、受信済メール削除画面へ遷移します。 受信済メール削除画面で“削除”をクリックすると受信済メールがすべて削除されます。 受信済メールの削除を実行できるのは、ログインユーザーのユーザー権限よりも下の権限を持つユーザーのメールに対してのみです。

ヴァーチャルメールアドレス

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

ヴァーチャルメールアドレス(トップ画面・新規登録)

ヴァーチャルメールアドレスとは、お客様のドメインのメールアドレスに着信したメールを、メールボックスに入れずに他のメールアドレスに中継する機能です。

1	新規ヴァーチャルメールアドレスを登録	[新規ヴァーチャルメールアドレスを登録]ボタンをクリックすると登録画面に進みます。
2	検索	登録されているヴァーチャルメールアドレスを検索できます。 検索の対象となる項目は“ヴァーチャルメールアドレス”と“コメント”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。
3	削除	削除するヴァーチャルメールアドレスをチェックします。複数のページにまたがっている場合は、1ページごとに削除を行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となります。
4	ヴァーチャルメールアドレス	登録されているヴァーチャルメールアドレスが表示されます。
5	コメント	登録されているヴァーチャルメールアドレスのコメントが表示されます。
6	設定	[設定]ボタンをクリックすると、現在の登録の変更画面に進みます。

【新規ヴァーチャルメールアドレスを登録】

新規にヴァーチャルメールアドレスを設定します。
コメントは省略可能です。
転送先メールアドレスはお客様のドメイン内でも、それ以外のドメインでも設定できます。

ヴァーチャルメールアドレス①	<input type="text"/>
コメント ②	<input type="text"/>
転送先メールアドレス1 ③	<input type="text"/>
転送先メールアドレス2	<input type="text"/>
転送先メールアドレス3	<input type="text"/>
転送先メールアドレス4	<input type="text"/>
転送先メールアドレス5	<input type="text"/>



1	ヴァーチャルメールアドレス	ヴァーチャルメールアドレスのアカウントを入力します。 ユーザー登録に実在しているユーザー名は使用できません。
2	コメント	ヴァーチャルメールアドレスに対するコメントを入力できます。(省略可能です)
3	転送先メールアドレス 1~5	転送先メールアドレスは5つまで指定できます。

入力後、[設定の保存]ボタンをクリックすると、登録完了画面が表示されます。

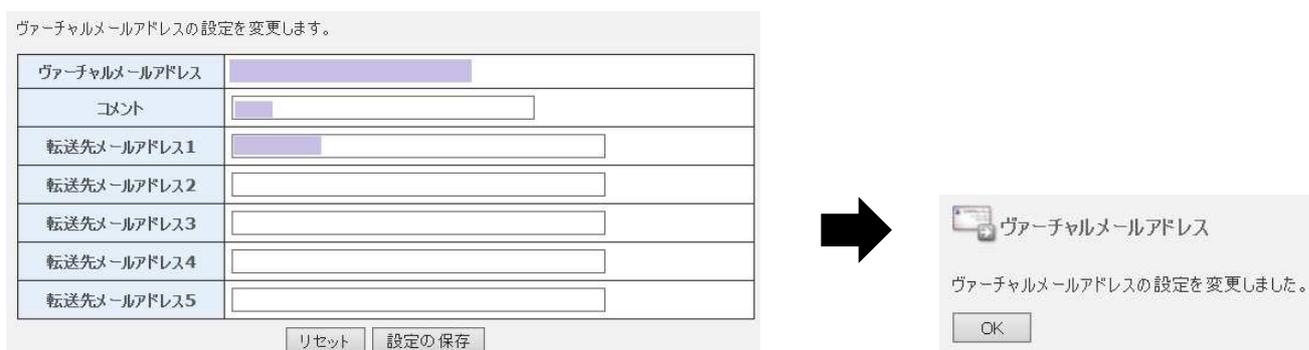
【チェックしたものを削除】ボタンをクリックした場合

削除するヴァーチャルメールアドレスをチェックし、[チェックしたものを削除]ボタンをクリックしてください。
削除確認画面へ遷移します。[削除]ボタンをクリックすると削除が完了します。



ヴァーチャルメールアドレス設定(登録情報の変更)

すでに登録されているヴァーチャルメールアドレスアドレスの設定を変更できます。
[設定]をクリックすると編集画面へ遷移します。



1	ヴァーチャルメールアドレス	登録されているヴァーチャルメールアドレスが表示されます。 ヴァーチャルメールアドレスの変更はできないため、変更が必要な場合には、新たに[新規ヴァーチャルメールアドレスの登録]ボタンから作成してください。
2	コメント	作成するヴァーチャルメールアドレスに対してコメントを付けられます。 入力できる文字数は半角 64 文字(全角 32 文字)までです。 なお、コメントは省略可能です。
3	転送先メールアドレス	受信したメールを転送させるメールアドレスを 1 つ以上入力してください。 お客様のドメイン内でも、それ以外のドメインでも設定できます。

注意: 転送先のメールアドレスに間違いがあると、メールループの原因となる場合があります。設定には十分注意してください。

変更後、[設定の保存]ボタンをクリックすると、変更完了の画面が表示されます。

メーリングリスト設定方法

プラン名 :レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

設定方法

メーリングリストの新規登録、設定変更、削除等を行います。

新規でメーリングリストを登録する場合は「新規メーリングリストを登録」ボタンをクリックすると登録画面に進みます。

新規にメーリングリストを登録します。
管理用アドレスの転送先は既に存在するeメールアドレスを指定してください。
投稿できるユーザーに「モデレーターのみ」を指定した場合、拡張設定の「モデレーターの編集」でモデレーターを設定する必要があります。

メーリングリスト名	<input type="text"/>
メーリングリストアドレス	<input type="text"/> @ <input type="text"/>
管理用アドレスの転送先	<input type="text"/> @ <input type="text"/>
インフォメーションの言語	日本語
コマンド送信できるユーザー	モデレーターのみ
投稿できるユーザー	モデレーターのみ
受信可能サイズ	<input type="text"/> KB以下
任意設定	<input type="checkbox"/> Subject: に通し番号をつける <input type="checkbox"/> コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す <input type="checkbox"/> 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す

リセット 設定の保存

1	メーリングリスト名	メーリングリストの名称を入力します(日本語入力が可能です)
2	メーリングメールアドレス	メーリングリストのメールアドレスを登録します。
3	管理用アドレスの転送先	管理用メールアドレスに送られたメールを転送する、ご利用ドメイン内の実メールアドレスです。ここでは、お客さまドメイン内の実メールアドレスを指定してください。メールエイリアスや、ほかのメーリングリストのアドレスは使用できません。
4	インフォメーションの言語	メーリングリストに参加した際や、コマンドを送信した際に送られてくる案内メールの言語です。
5	コマンド送信できるユーザー	メーリングリストに対して、コマンドを送信できるユーザーを選択します。コマンドの送信ができると、そのユーザーは自分でメーリングリストに参加したり、退会したりすることが可能になります。通常は「誰でも」に設定しておき、任意にメンバーになれるようにします。もし、メーリングリストに勝手に参加されては困る場合には、「モデレーターのみ」に設定し、管理者の承認なしには参加できないようにします。
6	投稿できるユーザー	メーリングリストに対して、メール(記事)の投稿ができるユーザーを選択します。通常は「メンバーのみ」に設定し、メーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。もし、メンバー全体に対してダイレクトメール配信を目的にする場合には、「モデレーターのみ」に設定し、勝手に投稿されないようにします。
7	受信可能サイズ	メーリングリストに投稿可能なメールのサイズをKB単位で設定します。通常のテキストメール程度であれば、50~100KB程度で十分です。これは、不用意に大きなファイルを添付したメールの配信を防ぐ目的で設定されます。最大で1,000KBまで受信可能です。
8	[任意設定] Subjectに通し番号を付ける	このオプションを有効にすると、投稿メールの表題に自動的に番号が入ります。例えば、メーリングリストアドレスが“abc@お客さまドメイン名”だった場合には、[abc 1] テストのようになります。
	[任意設定] コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、コマンド送信を許可されていないユーザーからのコマンドを拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。
	[任意設定] 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、投稿を許可されていないユーザーからの投稿を拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。

各項目の入力完了後、「設定の保存」ボタンをクリックすると、登録完了画面が表示されて作成終了となります。

メールリスト一覧項目の表示について

メールリストの登録、設定変更、削除をします。

新規メールリストを登録

総数 1 件
[1]

すべてにチェック

削除 ①	メールリスト名 ②	メンバー数 ③	編集
<input type="checkbox"/>	test	0/1000	④ 基本設定 ⑤ 拡張設定 ⑥ メンバー編集

リセット チェックしたものを削除

1	削除	削除するメールリストをチェックします。削除は1ページごとに行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となります。
2	メールリスト名	登録されているメールリストの名前とメールリストのアドレスが表示されます。
3	メンバー数	メールリストのメンバー登録数と登録可能な最大数が表示されます。
4	基本設定	メールリストの基本設定を変更します。 基本設定を変更するメールリストの“基本設定”ボタンをクリックしてください。 メールリスト基本設定画面へ遷移します。
5	拡張設定	メールリストの拡張設定を行います。 拡張設定では、メッセージの編集、通し番号の編集、モデレーターの編集ができます。 拡張設定を行うメールリストの“拡張設定”ボタンをクリックしてください。 メールリスト拡張設定画面へ遷移します。
6	メンバー編集	メールリストのメンバーを編集します。 メンバー編集を行うメールリストの“メンバー編集”ボタンをクリックしてください。 メールリストメンバー編集画面へ遷移します。

【チェックしたものを削除】ボタンをクリックした場合

削除するヴァーチャルメールアドレスをチェックし、[チェックしたものを削除]ボタンをクリックすると、削除確認画面へ遷移します。

削除確認画面で“削除”ボタンをクリックするとチェックしたメールリストがすべて削除されます。

以下の設定を削除します。よろしいですか？

戻る	削除
メールリスト名	メールリストアドレス
test	



メールリスト
メールリストを削除しました。
OK

メーリングリスト基本設定(設定変更)

メーリングリストの設定を変更する場合、[基本設定]ボタンをクリックします。

登録済みのメーリングリストの基本設定を変更します。
投稿できるユーザーに「モデレーターのみ」を指定した場合、拡張設定の「モデレーターの編集」でモデレーターを設定する必要があります。

メーリングリスト名	①	<input type="text" value="test"/>
メーリングリストアドレス	②	<input type="text" value=""/>
管理用アドレスの転送先	③	<input type="text" value=""/> @ <input type="text" value=""/>
インフォメーションの言語	④	日本語
コマンド送信できるユーザー	⑤	モデレーターのみ ▼
投稿できるユーザー	⑥	モデレーターのみ ▼
受信可能サイズ	⑦	<input type="text" value="1"/> KB以下
任意設定	⑧	<input type="checkbox"/> Subject: に通し番号をつける <input type="checkbox"/> コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す <input type="checkbox"/> 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す
<input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="設定の保存"/>		

1	メーリングリスト名	メーリングリストの名称を入力します(日本語入力が可能です)。
2	メーリングメールアドレス	メーリングリストのメールアドレスが表示されています。 メーリングリストのアドレスは変更できません。変更したい場合には、新規登録を行ってください。
3	管理用アドレスの転送先	管理用メールアドレスに送られたメールを転送する、ご利用のドメイン内の実メールアドレスです。ここでは、お客さまドメイン内の実メールアドレスを指定してください。 メールエイリアスや、ほかのメーリングリストのアドレスは使用できません。
4	インフォメーションの言語	メーリングリストに参加した際や、コマンドを送信した際に送られてくる案内メールの言語です。
5	コマンド送信できるユーザー	メーリングリストに対して、コマンドを送信できるユーザーを選択します。 コマンドの送信ができると、そのユーザーは自分でメーリングリストに参加したり退会したりすることが可能になります。 通常は「誰でも」に設定しておき、任意にメンバーになれるようにします。 もし、メーリングリストに勝手に参加されては困る場合には、[モデレーターのみ]に設定し、管理者の承認なしには参加できないようにします。
6	投稿できるユーザー	メーリングリストに対して、メール(記事)の投稿ができるユーザーを選択します。 通常は「メンバーのみ」に設定し、メーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。 もし、メンバー全体に対してダイレクトメール配信を目的にする場合には、[モデレーターのみ]に設定し、勝手に投稿されないようにします。
7	受信可能サイズ	メーリングリストに投稿可能なメールのサイズをKB 単位で設定します。 通常のテキストメール程度であれば、50~100 KB 程度で十分です。 これは、不用意に大きなファイルを添付したメールの配信を防ぐ目的で設定されます。 最大で 1,000KB まで受信可能です。
8	[任意設定] Subjectに通し番号を付ける	このオプションを有効にすると、投稿メールの表題に自動的に番号が入ります。 例えば、メーリングリストアドレスが "abc@お客さまドメイン名" だった場合には、[abc 1] テストのようになります。
	[任意設定] コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、コマンド送信を許可されていないユーザーからのコマンドを拒否し、送信者にエラーをメールで返します。 オプションが無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。
	[任意設定] 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す	このオプションを有効にすると、投稿を許可されていないユーザーからの投稿を拒否し、送信者にエラーをメールで返します。 オプションが無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。

設定がよろしければ、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

メーリングリスト拡張設定

拡張設定では、メッセージの編集、通し番号の編集、およびモデレーターの編集ができます。

メーリングリストの拡張設定を行います。
メッセージの編集は、編集するメッセージをリストから選択し、編集ボタンをクリックしてください。

メーリングリスト名	① test
メッセージの編集	② confirm (登録確認) [編集]
通し番号の編集	③ [編集]
モデレーターの編集	④ [編集]

[戻る]

1	メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前とメーリングリストのアドレスが表示されます。
2	メッセージの編集	ユーザーが、メーリングリストにコマンドを送信した場合に返信されるメールのメッセージです。編集をするメッセージを選択し、[編集]ボタンをクリックするとメッセージ編集画面に進みます。各メッセージの説明は以下のとおりです。
	objective	メーリングリストの話題の中心になる、メーリングリストの目的を記述します。
	confirm	ユーザーが参加を希望する場合に、本当に参加するのかどうかを確認するためのメッセージです。fml では、セキュリティの都合上、一度 subscribe コマンドを送信しても、即座にはメンバーになりません。再度ユーザーの参加意志を確認します。
	guide	メーリングリストの簡単な案内を記述します。
	help	メーリングリストのコマンドリファレンス等のヘルプを記述します。通常はデフォルトのまま使用します。
	welcome	ユーザーがメーリングリストに参加した際に送信される歓迎の文章を記述します。
	deny	ユーザーが、メーリングリストのメンバーでなく、コマンドや投稿が拒否された場合に返すエラーの文章を記述します。
3	通し番号の編集	メーリングリストの基本設定で、[Subject: に通し番号を付ける]を設定している場合に有効です。メーリングリストにメールが投稿される度に1が加算されていきます。この数値を任意に編集することが可能です。[通し番号の編集]の[編集]ボタンをクリックすると編集画面へ進みます。
4	モデレーターの編集	メーリングリストの基本設定で、[コマンド送信できるユーザー]または[投稿できるユーザー]に[モデレーターのみ]を選択した場合設定する必要があります。送信されたコマンドおよび投稿されたメールはモデレーターへ送信され、承認した場合のみ処理されます。[モデレーターの編集]の[編集]ボタンをクリックすると、モデレーターの編集画面へ進みます。

メーリングリスト メンバー編集

メンバーの登録や削除や出力を行う画面です。

フォーム上でメーリングリストのメンバーを追加、削除、修正することができます。
また、CSVファイルにより、大量のメンバーを登録することもできます。
フォーム、およびCSVファイルには1行にメールアドレスを1つ入力してください。

メーリングリスト名 ① test

登録メンバー

② フォームに直接入力

③ CSVファイルをインポート
メンバーを追加しない場合、既に設定されているメンバーは削除されます。
参照...

設定済みのメンバーに追加する

新規メンバーに welcome メールを送信する ④

リセット 設定の保存

登録済みの全メンバーをファイルに出力します。

ファイル出力 ⑤ 出力開始

1	メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前とメーリングリストのアドレスが表示されます。
2	[登録メンバー] フォームに直接入力	枠内にメーリングリストに登録したいメンバーのメールアドレスを直接入力していきます。 改行で2件目以降を入力してください。
3	[登録メンバー] CSV ファイルをインポート	メールアドレスの一覧を CSV ファイルにて一括でインポートすることができます。 [設定済みのメンバーに追加する]にチェックを入れていない場合、メールアドレスが上書きされてしまい、すでに設定されているメンバーは削除されてしまいますのでご注意ください。
4	新規メンバーに welcome メールを送信する	チェックが入っている場合、新規に追加されたメンバーのメールアドレスに、 メーリングリストメールアドレスから welcome メールが配信されます。
5	ファイル出力	[出力開始]ボタンをクリックすると、登録されているメンバーのメールアドレスのリストを 出力することができます。

■ウェブコントロール

プレビューサーバー

プラン名 : ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : 契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

DNS 開通前にお客さまのウェブサイトへアクセスすることができます。

Control Panel [契約者] ログアウト

Top > ウェブコントロール > プレビューサーバー

プレビューサーバー Help

DNS開通前にお客さまのウェブサイトへアクセスすることができます。

対象サイト	状態	設定
www	使用する	使用しない

戻る

1	対象サイト	プレビューの対象となるサイトが表示されます。 プレビューサーバーを使用している場合、サイト名をクリックするとそのサイトにアクセスできます。
2	状態	プレビューサーバーの使用状態が表示されます。
3	設定	プレビューサーバーの使用・不使用を切り替えます。

※サイト名をクリックできない場合には、[使用する]ボタンをクリックしてください。

Control Panel [契約者] ログアウト

Top > ウェブコントロール > プレビューサーバー

プレビューサーバー Help

DNS開通前にお客さまのウェブサイトへアクセスすることができます。

対象サイト	状態	設定
www	使用しない	使用する

戻る

データベースを使用している場合など、動的コンテンツの場合、プレビューサーバーでは表示できない場合がございますので、hosts ファイルの設定を行ってからブラウザよりお試しください。

アプリインストーラー

インターネット上で無償配布されている利用頻度の高い CGI 等をインストールすることができます。

アプリインストーラーは「**サイト管理者**」「**ドメイン管理者**」権限で利用できます。ユーザー情報は、ユーザー編集より確認できます。

※契約者アカウントからログインし、**サイト管理者等にユーザー切り替えを行ってアクセスした場合、エラーになります。**



標準 CGI

プラン名 : ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : ドメイン管理者、サイト管理者

掲示板やアクセスカウンタ、フォームメールなどの利用頻度の高い CGI をインストールすることができます。

標準 CGI に入っていたいただき、ドメイン名が書いているリンク先をクリックしていただければ管理画面に進みます。

※プラン変更や他社からの移転など DNS 切り替え前のためドメイン名でサーバーへ接続できない場合には、標準 CGI の管理画面へアクセスすることができないため、プレビューサーバー機能を使用することでご利用いただけます。



標準 CGI では、以下の CGI を利用できます。

簡易掲示板	記入順に新しいものから表示され、ベーシックなスタイルの掲示板を 5 つまで作成できます。ページのデザインはテンプレートをお客さまが変更でき、記事の管理も簡単に編集が可能です。
スレッド式掲示板	シンプルなスレッド式の掲示板を 5 つまで作成できます。
アクセスカウンタ	アクセスカウンタを 9 種類のカウンタから選んで作成できます。
フォームメール	HTML フォームから入力された項目を、指定したメールアドレスへ送信するフォームメールを作成できます。
ランダムバナー	ランダムでバナーを表示します。これにより、複数のバナーを使い分けることが可能です。また、それぞれのバナーを表示した回数をレポートします。
ランダムリンク	ランダムにリンクを表示します。登録した URL の中から無作為に選ばれた URL へとリンクします。毎回違ったリンク先の URL が表示されることになります。
ランダムテキスト	ランダムにテキストを表示します。毎回違ったメッセージでサイト訪問者を歓迎することができ、テキスト広告各種をランダムに表示することが可能です。
タイムテキスト	設定した時間帯に任意のテキストを表示します。例えば、午前中のサイト訪問者に「おはようございます…」と適切な挨拶メッセージを表示することができます。

アプリ・CGI 管理

プラン名 : ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : ドメイン管理者、サイト管理者

インターネット上で無償配布されている掲示板やアクセスカウンタなどの利用頻度の高い CGI をインストールすることができます。



インストールするアプリ・CGIを選択してください。最大20個までインストールできます。

インストール可能アプリ・CGI一覧

カテゴリ	名前	バージョン	概要	配布元	
カウンタ	Dream Counter	提供のバージョンが表示されています。	1つのカウンタCGIで複数のページに設置が可能です。また時計表示やカレンダー表示も可能です。	KENT-WEB	インストール
	Day Counter		総カウント数のほかに昨日と本日のカウント表示するカウンタCGIです。	KENT-WEB	インストール
フォームメール	PostMail		ウェブページからメールを送信することのできるフォームメールです。	KENT-WEB	インストール
掲示板	YY-BOARD		アイコン式レス機能付きの掲示板です。イメージアイコンを表示し、各メッセージに「レス」をつけることができます。アイコンなしも設定で選択可能です。	KENT-WEB	インストール
	e-Pad		パソコンと携帯端末でそれぞれ違うレイアウト表示を行う掲示板です。絵文字は、iモード、SoftBank、EZwebに対応しており、似た絵文字の場合には相互に自動変換し、それ以外の場合には画像に置き換えて表示します。	KENT-WEB	インストール
日記	Web Calen		カレンダー式の日記帳です。日記帳としてもスケジュール表としても利用できます。	KENT-WEB	インストール
ブログ	Movable Type		プラグインなどで強力なカスタマイズ機能を備えるブログシステムです。	Six Apart	インストール
	WordPress		デザインテンプレートが充実しているブログ構築アプリケーション(CMS)です。	WordPress.org	インストール
ショッピングカート	EC-CUBE		日本発のオープンソースECサイト構築システムです。	EC-CUBE	インストール
	EC-CUBE		日本発のオープンソースECサイト構築システムです。	EC-CUBE	インストール

アプリ・CGI 管理では、以下の CGI を利用できます。

カテゴリ	名前	概要	配布元
カウンタ	Dream Counter	1つのカウンタ CGI で複数のページに設置が可能です。また時計表示やカレンダー表示も可能です。	KENT-WEB
	Day Counter	総カウント数のほかに昨日と本日のカウント表示するカウンタ CGI です。	KENT-WEB
メールフォーム	PostMail	ウェブページからメールを送信することのできるフォームメールです。	KENT-WEB
掲示板	YY-BOARD	アイコン式レス機能付きの掲示板です。イメージアイコンを表示し、各メッセージに「レス」を付けることができます。アイコンなしも設定で選択可能です。	KENT-WEB
	e-Pad	パソコンと携帯端末でそれぞれ違うレイアウト表示を行う掲示板です。絵文字は、iモード、SoftBank、EZweb に対応しており、似た絵文字の場合には相互に自動変換し、それ以外の場合には画像に置き換えて表示します。	KENT-WEB
日記	Web Calen	カレンダー式の日記帳で、スケジュール表としても利用できます。	KENT-WEB
ブログ	MovableType	プラグインなどで強力なカスタマイズ機能を備えるブログシステムです。	Six Apart
	WordPress	デザインテンプレートが充実しているブログ構築アプリケーション (CMS) です。	WordPress.org
ショッピングカート	EC-CUBE	日本発のオープンソース EC サイト構築システムです。	EC-CUBE

【ご利用にあたってのご注意】

- ・当サイトで提供している CGI スクリプトは、個人・法人に限らず、利用者が自由に使用することができるフリーソフトを利用しています。ただし、著作権は CGI スクリプト配布元に属します。
- ・CGI スクリプトを利用するにあたって、配布元のフリーソフト利用規定に同意する必要があります。配布元のウェブサイトにて確認ください。
- ・CGI スクリプトが正常に動作することは確認済みですが、CGI スクリプトをお客さまにて改良された場合にはサポートの対象外となりますのでご了承ください。
- ・インストール後の CGI スクリプトの利用方法およびカスタマイズ方法については、ご案内できかねますことご了承ください。
- ・当社はお客さまが当サイトで提供している CGI スクリプトを利用することによって、お客さまに生じたいかなる損害について一切の責任を負いません。

アクセス制限

プラン名 : ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : 契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

アクセス制限 TOP 画面

任意のディレクトリーにパスワード認証を設置し、特定の IP アドレスからのアクセスを制限することができます。

1	新規アクセス制限を登録	新しい URL にアクセス制限を追加します。制限はディレクトリーに対して設定します。
2	検索	登録されているアクセス制限を検索できます。検索の対象となる項目は"URL"です。検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。入力された検索条件をすべて満たしたアクセス制限が表示されます。
3	削除	アクセス制限の設定を削除したい URL にチェックをします。削除は 1 ページごとに行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
4	URL	アクセス制限の設定がされている URL の一覧です。
5	編集: 認証管理	アクセス制限の設定の管理を行います。アクセス制限の基本的な設定を行います。
6	基本設定: 登録	Basic 認証のユーザー登録を行います。最大で 100 件まで登録できます。 ※それ以上の登録は一括登録でしか行えません。
7	基本設定: 一括登録	CSV 形式のファイルをアップロードして Basic 認証のユーザー登録を行います。既存のユーザーリストのダウンロードもできます。
8	基本設定: 編集	Basic 認証のユーザー設定の変更や削除を行います。

【チェックしたものを削除】ボタンをクリックした場合

削除する URL をチェックし、[チェックしたものを削除] ボタンをクリックしてください。削除確認画面へ遷移します。

削除確認画面で[削除] ボタンをクリックするとチェックしたアクセス制限がすべて削除されます。

アクセス制限 (新規登録/基本設定)

選択した URL について、特定のユーザーやホスト名、IP アドレスからのアクセスだけを強化することができます。
許可されなかったアクセス元には[403 Forbidden]のエラーページが表示されます。

The screenshot shows the 'Control Panel' interface. On the left, a navigation menu includes '新規アクセス制限を登録' (Register New Access Restriction). The main area displays the configuration form for access restrictions, with numbered callouts 1 through 8 corresponding to the table below. The form includes fields for URL, checkboxes for user authentication and host restriction, text input for dialog name, list boxes for allowed and forbidden hosts, radio buttons for priority, and a checkbox for composite authentication.

1	URL	アクセスを制限したい URL を入力します。制限はディレクトリーに対して設定していただきます。
2	ユーザー認証	Basic 認証によるユーザーごとのアクセス制限をかける場合はこれにチェックをし、「ダイアログ名」を設定します。ユーザーの追加や削除は前画面の「認証管理」機能をお使いください。
3	ダイアログ名	アクセス制限のページにアクセスした際に表示されるダイアログのタイトルを設定します。英数字、アンダーバー()、カンマ()、ドット()、ハイフン()が使えます。
4	ホスト制限	アクセス元のホスト名や IP アドレスによるアクセス制限をかける場合はこれにチェックをし、「許可ホスト」や「禁止ホスト」を設定します。
5	許可ホスト	アクセス元として許可するホスト名や IP アドレスを空白や改行で区切って指定します。 例: ppp123.example.com 192.168.0.3 また「all」と書くとすべてのアクセス元を指定したことになります。
6	禁止ホスト	アクセス元として禁止するホスト名や IP アドレスを空白や改行で区切って指定します。 例: ppp123.example.com 192.168.0.3 また「all」と書くとすべてのアクセスを指定したことになります。
7	適用順位	「許可ホスト」と「禁止ホスト」のルールを適用する順番を決めます。 通常どちらかに all を指定したときに意味を持ちます。 例: 許可ホスト: all 禁止ホスト: .example.com 適用順位: 許可→禁止 ⇒ 「.example.com」で終わるホスト名からのみのアクセスを禁止します。 許可ホスト: .example.com 禁止ホスト: all 適用順位: 禁止→許可 ⇒ 「.example.com」で終わるホスト名からのみのアクセスを許可します。
8	複合認証	[ユーザー認証]か[ホスト制限]のどちらかで許可されたアクセスを許可します。 ホスト制限で許可したホストからのアクセスはユーザー認証を行わずに許可します。

各項目入力後、[設定値の保存]ボタンをクリックすると登録完了します。

登録後、変更や追加などの編集を行いたい場合には、アクセス制限 TOP 画面の[基本設定]ボタンから変更できます。

アクセス制限（認証ユーザー管理/登録）

Basic 認証のユーザーを登録します。最大で 100 ユーザーの管理が可能です。

1	パスワード自動生成	ユーザー名に入力がありパスワードに何も入力されていない場合、8文字のパスワードが自動発行されます。
2	URL	アクセス制限の対象となるURLが表示されます。
3	ユーザー名	Basic 認証で使用するユーザー名です。 使用できる文字は英数字、アンダーバー(-)、ドット(.)、ハイフン(-)で32文字までです。 既存のユーザー名を指定した場合は上書きになります。
4	パスワード	Basic 認証で使用するパスワードです。使用できる文字は英数字で32文字までです。
5	コメント	作成する認証ユーザーに対してコメントを付けられます。コメントは省略可能です。 入力できる文字数は半角64文字(全角32文字)までです。

設定がよろしければ、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

アクセス制限 (認証ユーザー管理/編集)

登録されている Basic 認証のユーザーを編集できます。

The screenshot shows the 'アクセス制限' (Access Control) interface. On the left, there's a list of URLs with a '編集' (Edit) button highlighted in red. An arrow points to a detailed view of a user entry. In this view, the 'URL' field is labeled 1, the search input is 2, the '削除' (Delete) checkbox is 3, the 'ユーザー名' (Username) field is 4, the 'パスワード' (Password) field is 5, the 'コメント' (Comment) field is 6, and the '編集' (Edit) button is 7.

1	URL	アクセス制限の対象となる URL が表示されます。
2	検索	認証ユーザーを検索できます。 検索の対象となる情報は“ユーザー名”と“コメント”です。 検索条件が複数ある場合は、スペースで区切って入力してください。 入力された検索条件をすべて含んだものが表示されます。
3	削除	削除するユーザーにチェックします。 削除は 1 ページごとに行ってください。 チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
4	ユーザー名	登録されている認証ユーザー名が表示されます。
5	パスワード	登録されている認証ユーザーのパスワードが表示されます。
6	コメント	登録されている認証ユーザーのコメントが表示されます。
7	編集	認証ユーザーのパスワードやコメントを変更することができます。“編集”ボタンをクリックすると、編集画面に遷移します。

【チェックしたものを削除】ボタンをクリックした場合

削除するユーザーにチェックし、[チェックしたものを削除]ボタンをクリックすると削除確認画面へ進みます。

削除確認画面で[削除]ボタンをクリックするとチェックしたユーザーがすべて削除されます。

The flowchart illustrates the deletion process. It starts with the user list where a user is checked. An arrow points to a confirmation dialog with the text '以下のユーザーを削除します。' (Delete the following users) and a '削除' (Delete) button highlighted in red. Another arrow points to a message box that says '設定を完了しました。' (Settings completed) with an 'OK' button.

ユーザー情報(パスワード・コメント)の編集

ユーザー名の右側の[編集]ボタンをクリックすると、ユーザーのパスワードとコメントの編集が行えます。

The screenshot shows the user edit interface. The 'URL' field is 'http://www. [redacted]'. Below it, there are fields for 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), and 'コメント' (Comment). The '設定の保存' (Save settings) button is highlighted.

アクセス制限 (認証ユーザー管理/一括登録)

Basic 認証のユーザーを CSV 形式のテキストで一括登録します。また、CSV ファイルのインポート/エクスポートもできます。

CSV形式のユーザーデータファイルをアップロードすることで、認証ユーザーを一括登録します。アップロードしたデータは既存のユーザーデータに追記されます。アップロードしたデータと同一のユーザーが既に存在する場合は、データが上書きされますのでご注意ください。

URL http://www.

CSVファイルアップロード 参照... 登録

既存のユーザーを上書きしない

CSVファイルダウンロード 出力開始

CSV形式のデータを入力することで、認証ユーザーを一括登録します。入力したデータは既存のユーザーデータに追記されます。入力したデータと同一の認証ユーザーが既に存在する場合は、データが上書きされますのでご注意ください。

テキスト一括登録 (カンマ区切り) 登録

1	URL	アクセス制限の対象となる URL が表示されます。
2	CSV ファイルアップロード	CSV 形式のファイルを読み込み、認証ユーザーを登録することができます。 [参照]をクリックしファイルを選択するか、入力フォームに読み込むファイル名を入力し、[登録]をクリックしてください。 [既存のユーザーを上書きしない]にチェックすると、ユーザー名が重複したデータはスキップして処理します。 ※CSV ファイルの書式については下記の“CSV データについて”を参照してください。 ※登録するユーザー数が多い場合、処理に時間がかかることがあります。
3	CSV ファイルダウンロード	現在登録されている認証ユーザーデータを CSV ファイルへ出力します。 [出力開始]をクリックすると、CSV ファイルの出力が実行されます。
4	テキスト一括登録	CSV データを直接入力する場合に使用します。1 行に 1 ユーザーのデータを記述してください。 [登録]をクリックすると、登録が実行されます。 なお、今回登録しようとするユーザー名がすでに登録されている場合は、パスワードとコメントが上書きされますのでご注意ください。 ※CSV データの書式については“CSV データについて”を参照してください。

CSV データについて

CSV データの内容は以下のように作成してください。

【書式】 ユーザー、パスワード、コメント

※パスワード: パスワードで使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 です。

※コメント: ユーザーについてのコメント。省略可。

- ・ユーザー、パスワード、コメントの順で値をカンマ区切りで指定してください。
- ・項目[コメント]に“(カンマ)”を使用する場合は、項目[コメント]全体を“(ダブルクォート)”で囲んでください。
- ・項目[コメント]に“(ダブルクォート)”を使用する場合は、項目[コメント]全体を“(ダブルクォート)”で囲み、コメント内で“(ダブルクォート)”を2つ続けて入力してください。

テキスト一括登録する場合の記述の見本

テキスト一括登録 (カンマ区切り)

```
yamada, Yama123da, 山田さん
tanaka, Tana123ka, "田中""部長""
uesugi, ue123sugi, "上杉""課長""
share, Share123uetana, "田中, 上杉共通"
```

CSV ファイルをアップロードする場合のファイル記述の見本

yamada	Yama123da	山田さん
tanaka,	Tana123ka	田中部長
uesugii	ue123sugi	上杉”課長”
share	Share123uetana	田中,上杉共通

アクセス解析

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

アクセス解析 TOP 画面

アクセス解析ソフトの選択とアクセスログの設定を行います。

The screenshot shows the Control Panel interface. On the left, the 'ウェブコントロール' (Web Control) menu item is highlighted. The main content area displays the 'アクセス解析' (Access Analysis) settings page. The page title is 'アクセス解析' and it includes a 'Help' button. Below the title, there is a description: 'アクセスログの保存方法や解析ソフトウェアの設定をします。' (Set the storage method for access logs and the analysis software). A table with four columns is shown: '対象サイト' (Target Site), 'ログ保存' (Log Storage), 'ログ解析' (Log Analysis), and '編集' (Edit). The '対象サイト' column contains 'www.' and a text input field. The 'ログ保存' column is set to 'ZIP形式で保存' (Save in ZIP format). The 'ログ解析' column is set to 'Analog'. The '編集' column contains two buttons: '基本設定' (Basic Settings) and '解析設定' (Analysis Settings). A '戻る' (Back) button is located at the bottom left of the settings area.

1	対象サイト	お客さまが管理されているサイト名です。
2	ログ保存	ログ保存の設定状況を表示します。
3	ログ解析	ログ解析の設定状況を表示します。
4	[編集] 基本設定	ログの保存に関する設定をします。
	[編集] 解析設定	アクセス解析ソフトの詳細な設定を行うことができます。

アクセス解析 (基本設定)

アクセス解析の基本設定を行います。

アクセス解析 ? Help

アクセスログの保存方法や解析ソフトウェアの設定をします。

対象サイト	ログ保存	ログ解析	編集	
www. <input type="text"/>	ZIP形式で保存	Analog	基本設定	解析設定



アクセスログ解析の実行や保存方法を設定します。

対象サイト ①	www. <input type="text"/>
ログ解析 ②	<input type="radio"/> 解析しない <input checked="" type="radio"/> Analog
ログ保存 ③	ZIP形式で保存 <input type="text"/>
保存日数 ④	100 <input type="text"/> × 日

1	対象サイト	設定するサイト名です。
2	ログ解析	ログを解析するソフトウェアを選択します。
3	ログ保存	ログの保存をするかしないか、する場合はどの形式であるかを指定します。 保存したログファイルはホームディレクトリ下のディレクトリaccess_logの下に置かれます。 ※ログ解析を行う場合は、必ず1日以上ログの保存を行ってください。
4	保存日数	ログを保存する日数を指定します。これを越えたログファイルは自動的に消去されます。 日数は100日までです。これ以上の保存が必要な場合はftpやファイルマネージャにてダウンロードを行ってください。

上記でよろしければ、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

アクセス解析 (解析設定)

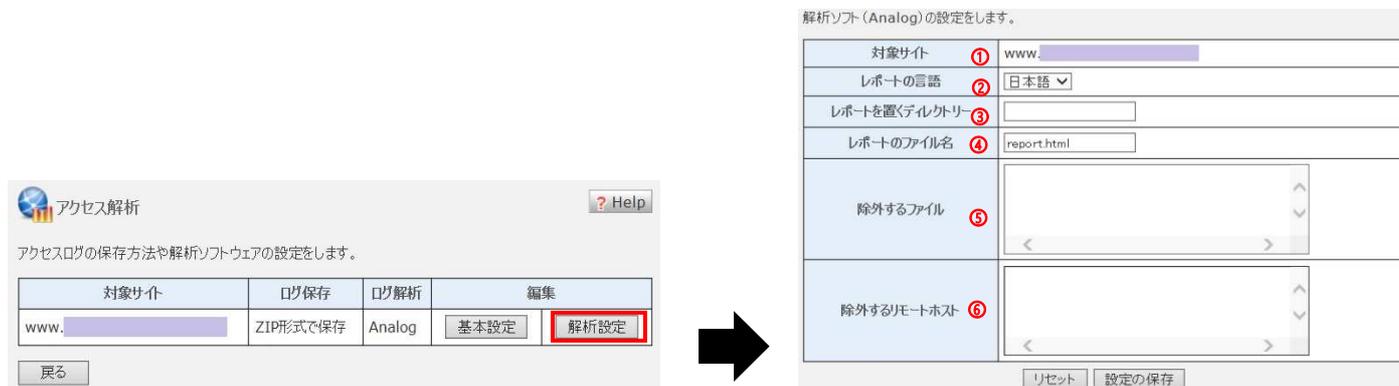
解析設定 (Analog) の設定を行います。

【注意】

Analog を利用した場合には、お客さま領域に解析結果の html ファイルが作成されます。

Internet Explorer 等のウェブブラウザより表示が可能なため、レポートを置くディレクトリには、

第三者が閲覧できないようアクセス制限を設定することをおすすめします。



1	対象サイト	設定するサイト名です。
2	レポート言語	解析レポートの HTML の言語を指定します。日本語か英語が選択できます。
3	レポートを置くディレクトリ	解析レポートの HTML ファイルを保存するディレクトリです。 存在するディレクトリを指定してください。
4	レポートのファイル名	解析レポートの HTML ファイルの名前を指定します。
5	除外するファイル	解析にあたってアクセス記録から除外するファイル名を改行で区切って指定します。 入力書式は / からの絶対パスで記述してください。 入力例: http://www.example.org/shared/images/photo.jpg を解析から除きたい場合には、 /shared/images/photo.jpg と入力します。 拡張子が jpg のファイルをすべて解析から除きたい場合には、 *jpg と入力します。 特定のディレクトリ /shared/images/ にあるすべてのファイルを解析から除きたい場合には、 /shared/images/* と入力します。
6	除外するリモートホスト	解析にあたってアクセス記録から除外するアクセス元ホストを改行で区切って指定します。 ドメイン名や IP アドレスの指定が可能です。 入力例: 192.168. で始まるホストからのアクセスを解析から除く場合には、 192.168.* と入力します。

設定がよろしければ、[設定の保存] ボタンをクリックしてください。

アクセス解析（解析結果の表示）

解析結果は毎日1度解析対象期間の翌日中に更新されます。表示方法は以下のとおりです。

基本設定で設定した場所に配信されます。

例

ご契約ドメイン名: example.jp

レポートを置くディレクトリー: analog

レポートのファイル名: report.html

<アクセス解析結果の表示 URL>

→<http://example.jp/analog/report.html>

カスタムエラー

プラン名 :ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

カスタムエラー トップ画面

お客さまが設定しているカスタムエラーの設定や削除を行います。



Control Panel

Top > ウェブコントロ...

ウェブコントロール

プレビューサーバ
DNS開...

アプリンストーラ
弊社提供
ことができ

アクセス制限
任意のウ
キ...

404、403等のエラーページをお客さまが指定したHTMLファイルに設定します。

対象サイト	設定
www. <input type="text"/>	<input type="button" value="設定"/>

[設定]ボタンから各種カスタムエラーページの設定画面へ進みます。

カスタムエラー設定画面

ウェブサイトの 403 Forbidden や 404 Not Found などのエラー表示をカスタマイズすることができます。
カスタマイズしない場合は[サーバー初期ページ]を選択してください。

404, 403等のエラーページをお客さまが指定したHTMLファイルに設定します。

対象サイト	設定
www.	設定

各エラーコードに対応するエラーページを選択し、設定します。

対象サイト ①	エラーコード ②	表示ページ ③
www	401	<input checked="" type="radio"/> サーバー初期ページ <input type="radio"/> カスタム初期ページ (/401.html) <input type="radio"/> ユーザー設定ページ 設置場所 <input type="text"/>
	403	<input checked="" type="radio"/> サーバー初期ページ <input type="radio"/> カスタム初期ページ (/403.html) <input type="radio"/> ユーザー設定ページ 設置場所 <input type="text"/>
	404	<input checked="" type="radio"/> サーバー初期ページ <input type="radio"/> カスタム初期ページ (/404.html) <input type="radio"/> ユーザー設定ページ 設置場所 <input type="text"/>
	500	<input checked="" type="radio"/> サーバー初期ページ <input type="radio"/> カスタム初期ページ (/500.html) <input type="radio"/> ユーザー設定ページ 設置場所 <input type="text"/>

リセット 設定の保存

1	対象サイト	カスタムエラーを設定するサイトが表示されます。
2	エラーコード	カスタマイズできるエラーコードです。
3	表示ページ	エラーが起こった際に表示するページを指定します。ページの詳細は以下を参照してください。
	サーバー初期ページ	ウェブサーバー標準のエラーページです。カスタマイズしない場合に選択してください。
	カスタム初期ページ	サンプルのエラーページです。 ドキュメントルートのディレクトリーに“エラーコード.html”が作成されます。 必要に応じてファイルを編集してください。
	ユーザー設定ページ	エラーページをファイル指定できます。 ファイルの設置場所を / から絶対パスで指定してください。 <入力例> http://www.example.org/error/my404.html を指定したい場合 ⇒/error/my404.html

上記でよろしければ、[設定の保存]ボタンをクリックしてください。

シングル URL

プラン名 : プロ

対象権限 : 契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

シングル URL TOP 画面

シングル URL とは、Web サイトのトップページにアクセスした際に、クライアントの環境に応じて自動的にページを転送する機能です。携帯ブラウザと PC 環境とで表示する Web ページを切り替えたい場合などに使用します。



1	対象サイト	お客様の管理されているサイト名です。
2	状態	シングル URL の使用状態が表示されます。 「使用する」「使用しない」の切り替えは、設定画面にて変更できます。
3	設定	シングル URL の設定や使用の解除ができます。

シングル URL (設定画面)

シングル URL とは、Web サイトのトップページにアクセスした際に、クライアントの環境に応じて自動的にページを転送する機能です。携帯ブラウザと PC 環境とで表示する Web ページを切り替えたい場合などに使用します。

シングルURLの設定・解除を行います。

対象サイト ①	www
<input checked="" type="checkbox"/> シングル URL を使用する ②	
User-Agent ③	転送先 URL ④
DoCoMo	/docomo/
KDDI	/au/
SoftBank	/softbank/
iPhone	/iphone/
iPad	/ipad/
Android	/android/

リセット 設定の保存

携帯端末	User-Agent
NTT ドコモ	DoCoMo
au	KDDI
SoftBank	SoftBank
iPhone	iPhone
iPad	iPad
Android	Android

1	対象サイト	シングル URL の対象となるサイトが表示されます。
2	シングル URL を使用する	シングル URL を使用する場合、チェックします。 設定を解除するには、チェックを外してください。
3	User-Agent	転送する User-Agent を指定します。 主な携帯端末とその User-Agent は上記一覧をご参照ください。 ※User-Agent は機種によって変更される可能性がありますのでご注意ください。
4	転送先 URL	User-Agent が一致した場合に転送する先の URL を指定します。入力書式は /からの絶対パスで記述してください。※画面キャプチャ内の URL は見本です。

iPhone や Android などの場合、UserAgent の形式がほかのキャリアと異なるため、.htaccess ファイルを以下のように手動にて変更していただくことでキャリアの判別が可能となります。

- .htaccess を FTP ソフトでダウンロードし、テキストエディタ(※)で以下のように変更します。
※^(=キャレット)を消します。

<p>【変更前】</p> <pre>RewriteEngine On RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} ^iPhone RewriteRule ^\$/iphone_site/ [R=302] RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} ^Android RewriteRule ^\$/android_site/ [R=302]</pre>		<p>【変更後】</p> <pre>RewriteEngine On RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} iPhone RewriteRule ^\$/iphone_site/ [R=302] RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} Android RewriteRule ^\$/android_site/ [R=302]</pre>
---	---	---

- 変更した.htaccess を FTP ソフト等で既定の位置へアップロードします。

※上記の手順以降に、シングル URL の画面で変更(設定の保存)を行った場合、.htaccess ファイルも上書きされてしまうため、再度上記の変更作業を行ってください。

■ユーティリティ

データ移行ツール

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 : 契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

[データ移行ツール]は他社のホスティングサービスから乗り換える場合に、他社サーバーのウェブサイトのコンテンツをレンタルサーバへ簡単に転送できるツールです。ControlPanel にログイン後、[ユーティリティ]>[データ移行ツール]をクリックします。

1	移行先サイト	サーバーで利用されているドメイン名を選択し、コピー先のディレクトリーを指定します。ホームディレクトリーへコピーする際は、ディレクトリーの指定はせず空欄にします。
2	サイト IP アドレス	移行元 FTP サーバーの IP アドレスを入力します。 ※以下のようなウェブサイトで、FTP サーバーのホスト名から IP アドレスを検索することが可能です。 http://www.iphirobajp/ip.php
3	FTP アカウント	移行元サーバーで、FTP 接続の際に利用されていた FTP アカウントを入力します。
4	FTP パスワード	移行元サーバーで、FTP 接続の際に利用されていた FTP アカウントのパスワードを入力します。
5	サイトディレクトリー	移行元サーバーのサイトのディレクトリーを指定します。 ※指定されたディレクトリー配下のファイルやディレクトリーをコピーします。 空欄の場合は、移行元サーバーのホームディレクトリー以下をコピーします。
6	タイムスタンプ	FTP コピー中、サーバー上に同名のファイルやディレクトリーが存在した場合、タイムスタンプをチェックするか指定できます。タイムスタンプをチェックする場合、存在するファイルよりタイムスタンプが新しい場合にのみ上書きされますが、チェックしない場合はすべて上書きとなります。

入力完了後、[移行開始]ボタンをクリックしていただくことで、コピーが開始されます。

コピー処理中は、処理を実行したユーザー、および他のユーザーによるコピー処理はできません。

ディスク使用量設定

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

お客様のドメイン名で使用しているメールとウェブのディスク容量を表示します。

The screenshot shows the Control Panel interface. On the left, the 'ディスク使用量設定' (Disk Usage Settings) menu item is highlighted. The main content area displays the configuration for disk usage monitoring. It includes sections for 'メール' (Email) and 'ウェブ' (Web), each with a usage rate graph and a '更新' (Update) button. Below these are warning settings for both, including a dropdown for '警告値' (Warning Value) and a table for '送信先' (Destination) for warning emails. The '送信先' table has three rows for '送信先1', '送信先2', and '送信先3', each with a corresponding input field. A 'リセット' (Reset) button and a '設定の保存' (Save Settings) button are at the bottom.

1	使用率	メール容量およびウェブ領域の使用率をグラフで表示します。 "使用率"の表示内容はお客様のご契約プランによって変わります。
2	使用量/契約容量	メールおよびウェブのディスク使用量と契約容量を MB で表示します。 "使用量/契約容量"の表示内容はお客様のご契約プランによって変わります。
3	更新	[更新]ボタンをクリックすると最新の使用量/契約量が表示されます。 ※クリック後、再確認が必要な場合には、1 時間経過後にクリックしてください。
4	警告値	ディスク使用率が特定の値に達した場合、設定したメールアドレスに警告メールを送信することができます。 設定できる使用率は 50%、60%、70%、80%、90%です。 "通知しない"を選択した場合や送信先メールアドレスが空白の場合は、使用率が増加しても警告メールは送信されません。
5	送信先	メールおよびウェブのディスク使用率が警告値に達した場合に送られる警告メールの送信先を設定します。

各項目の入力完了後、[設定の保存]ボタンをクリックすると、登録完了画面が表示されて作成終了となります。

ディスク使用量は定期的にチェックします。

ファイルマネージャ

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

ファイルマネージャとは、ウェブブラウザを使ってファイルのアップロードやディレクトリーの作成、削除などを行えるファイル管理ツールです。

【作成】[HTML、PHP、Perl、Text]をそれぞれクリックすると作成画面が表示されます。

①【HTML】

【PHP】

【Perl】

②【ディレクトリー】 名前を指定してディレクトリーの作成が行えます。

③【アップロード】 ファイルのアップロードが可能です。参照ボタンを押してファイルを指定してください。

確認して間違いのないようでしたらアップロードボタンを押してください。右側にファイル名とアップロード成功が表示されましたら完了です。

- 【名前変更】** 対象ファイルにチェックを入れて[名前変更]ボタンをクリックするか、ファイル名横のアイコンをクリックし、[新しい名前]にファイル名を入力して[名前変更]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを: **名前変更**

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 00:14
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 03:46
<input checked="" type="checkbox"/>	test		644	161	2016/09/07 13:20
<input type="checkbox"/>	test2		644	88	2016/09/07 13:21
<input type="checkbox"/>	test3		644	144	2016/09/07 13:21

変更する名前を入力してください。

名前 新しい名前

test

- 【ここにコピー】** 対象ファイルにチェックを入れて[ここにコピー]ボタンをクリックし、[新しい名前]にファイル名を入力して[ここにコピー]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを: **ここにコピー**

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 00:14
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 03:46
<input checked="" type="checkbox"/>	test		644	161	2016/09/07 13:20
<input type="checkbox"/>	test2		644	88	2016/09/07 13:21
<input type="checkbox"/>	test3		644	144	2016/09/07 13:21

コピーする名前を入力してください

名前 新しい名前

test

- 【モード変更】** 対象ファイルにチェックを入れて[モード変更]ボタンをクリックするか、モード欄の数字部分ををクリックし、[モード]に数字(パーミッション)を入力して[モード変更]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを:

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 00:14
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 03:46
<input checked="" type="checkbox"/>	test		644	161	2016/09/07 13:20
<input type="checkbox"/>	test2		644	88	2016/09/07 13:21
<input type="checkbox"/>	test3		644	144	2016/09/07 13:21

設定するモードを入力してください。
モードは0～7による3桁の数です。
例: 644

名前 モード

test

- 【削除】** 対象ファイルにチェックを入れて[削除]ボタンをクリックするか、ファイル名横の×アイコンをクリックし、**削除対象ファイルをご確認のうえ、[削除]ボタンをクリックします。※削除したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。**

チェックしたファイルを: **削除**

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 00:14
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 03:46
<input checked="" type="checkbox"/>	test		644	161	2016/09/07 13:20
<input type="checkbox"/>	test2		644	88	2016/09/07 13:21
<input type="checkbox"/>	test3		644	144	2016/09/07 13:21

次のファイルを削除します。

名前

test

- 【移動】** 対象ファイルにチェックを入れて[移動]ボタンをクリックし、移動先のディレクトリーを指定して[移動]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを: **移動**

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 00:14
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 03:46
<input checked="" type="checkbox"/>	test		644	161	2016/09/07 13:20
<input type="checkbox"/>	test2		644	88	2016/09/07 13:21
<input type="checkbox"/>	test3		644	144	2016/09/07 13:21

移動先を選択してください。

移動するファイル

test

移動先:

- 【コピー】** 対象ファイルにチェックを入れて[コピー]ボタンをクリックし、コピー先のディレクトリーを指定して[コピー]ボタンをクリックします。

チェックしたファイルを: **コピー**

選択	名前	操作	モード	サイズ (byte)	更新
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 00:14
<input type="checkbox"/>			755	-	2016/09/07 03:46
<input checked="" type="checkbox"/>	test		644	161	2016/09/07 13:20
<input type="checkbox"/>	test2		644	88	2016/09/07 13:21
<input type="checkbox"/>	test3		644	144	2016/09/07 13:21

コピー先を選択してください。

コピーするファイル

test

コピー先:

コマンド検索

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

[コマンド名]のフィールドに検索するコマンドを入力し、検索ボタンをクリックします。
よく使用する UNIX コマンドが存在するか検索し結果を表示します。



The screenshot shows the Control Panel interface. On the left, the 'コマンド検索' (Command Search) option is highlighted in the sidebar. An arrow points to a search form on the right. The search form has a field for 'コマンド名' (Command Name) containing 'find' and a '検索' (Search) button. Below the search form, the search results are displayed: '検索結果' (Search Results) shows 'find のパスは /bin/find です。' (The path for find is /bin/find).

1	コマンド名	検索するコマンドのコマンド名を入力し、[検索]ボタンをクリックします。
2	検索結果	[検索]ボタンをクリックすると、結果を表示します。 存在する場合は、コマンドのパスを表示します。 存在しない場合には、「コマンドが見つかりませんでした」と表示されます。

コマンドスケジューラ

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

コマンドスケジューラは、お客様の Web 領域に配置されたスクリプトを、設定されたスケジュールに従って定期的に処理するものです。

1	新規スケジュールを登録	「新規スケジュールを登録」ボタンをクリックすると、登録画面へ遷移します。
2	削除	削除するコマンドにチェックします。削除は 1 ページごとに行ってください。チェックした後に別ページへ遷移すると、それまでにチェックしたものは無効となりますのでご注意ください。
3	スケジュール	指定されたコマンドを実行する日時を表示します。
4	コマンドパス	指定された日時に実行するスクリプト等を表示します。 パスは、お客様の Web のホームディレクトリーからの相対パスになります。
5	設定変更	設定を変更したいスケジュールの「設定変更」ボタンをクリックしてください。 スケジュール設定変更画面へ遷移します。
6	チェックしたものを削除	削除するスケジュールをチェックし、「チェックしたものを削除」ボタンをクリックすると、削除確認画面へ遷移します。削除確認画面で「削除」ボタンをクリックすると、チェックしたスケジュールがすべて削除されます。

【新規スケジュールを登録】

お客様が指定した任意の時刻に、任意のコマンドを実行します。
コマンドパスには、お客様のホームディレクトリーからの相対パスで指定してください。

繰り返し設定 ①	<input checked="" type="radio"/> 日付指定	1 月 1 日
	<input type="radio"/> 毎月	1 日
	<input type="radio"/> 毎日	
	<input type="radio"/> 曜日指定	<input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土
実行時刻 ②	0 時 0 分	
コマンドパス ③	<input type="text"/>	
リセット 設定の保存		

1	繰り返し設定	実行したい日を指定します。
2	実行時刻	実行したい時刻を指定します。
3	コマンドパス	指定された日時に実行するスクリプトの保存場所を指定します。 パスは、お客様の Web のホームディレクトリーからの相対パスになります。 【設定例】 www.example.com/test.cgi

各項目に入力後、[設定の保存]ボタンをクリックします。

perl モジュール検索

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

サーバー内で使用できる perl のモジュールを検索します。

[モジュール名]のフィールドに検索するモジュール名を入力し、検索ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Control Panel interface. On the left, a sidebar menu lists various tools, with 'perlモジュール検索' (Perl Module Search) highlighted in red. An arrow points from this menu item to a search form on the right. The search form contains a text input field with 'File::Find' entered, a '検索' (Search) button, and a results area showing 'File::Find は使用可能です。バージョンは 1.14 です。' (File::Find is available. Version is 1.14).

1	モジュール名	検索する perl モジュールの名称を入力してください。モジュール名は、Net::Ping や File::Find のように「カテゴリ:モジュール名」の形式で入力します。
2	検索結果	[検索]ボタンをクリックすると、結果を表示します。 存在する場合は、コマンドのパスを表示します。 存在しない場合には、「Find:xxx は見つかりませんでした」と表示されます。

perl 文法チェック

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者、サイト管理者

CGI の文法チェックを行います。Perl で記述された CGI の文法をチェックし、結果を表示します。
なお、指定できる URL はお客さまのドメイン内のみです。他のドメインの URL を指定することはできません。

URL 入力欄に、文法チェックを行いたい CGI の URL を入力し、[チェック]ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the Control Panel interface. On the left, a sidebar menu lists various services, with 'perl文法チェック' (perl syntax check) highlighted in red. An arrow points from this menu item to the right, where a form titled 'perl文法チェック' is displayed. The form contains a text input field for the URL, currently showing 'http://', and a 'チェック' (Check) button. Below the form, a table displays the results of the syntax check.

レポートの詳細について

perl CGI の文法チェックを行います。チェックしたい CGI の URL を入力してください。

URL /

調査項目	調査結果	レポート
アクセス権限 ①	0644	× パーMISSIONは 0550 または 0750 である必要があります
実行ディレクトリー ②	0755	◎ 問題ありません
ヘッダー情報 ③	#!/usr/local/bin/perl	○ 問題ありません
改行コード ④	LF	◎ 問題ありません

perl のメッセージ ⑤

1	アクセス制限	CGI ファイルのアクセス権です。 Web サーバーは suEXEC 環境で動作していますので、CGI として動作させる場合には、0701 (所有者が読み書き実行可能、グループは一切の権限なし、第三者は実行のみ可能) が最も安全な状態になります。所有者、グループ以外のユーザーに読み取り権限がある場合には、第三者に CGI のソースコードが読まれる可能性があるため注意が必要です。0775、0755、0711 等も問題なしと判定します。
2	実行ディレクトリー	CGI が実行されるディレクトリーのアクセス権です。suEXEC 環境では、0775 または 0755 である必要があります。
3	ヘッダー情報	CGI ファイルが perl で記述されていることを宣言する部分です。 ファイルの1行目は必ず <code>#!/usr/bin/perl</code> と記述しなければなりません。 <code>#!/usr/local/bin/perl</code> でも問題なしと判断します。
4	改行コード	CGI ファイルの改行コードです。UNIX 上で動作させる場合には必ず LF である必要があります。
5	perl のメッセージ	CGI に対して <code>perl -wc</code> を実行して出力されたメッセージです。

※上記のサンプルの場合、ファイルマネージャからファイルのモード変更が必要となります。

データベース設定

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

■データベース設定 一覧画面

Control Panel [契約者] ログアウト

インフォメーション
ユーザー管理
メールコントロール
ウェブコントロール
ユーティリティ
データ移行ツール
ディスク使用量設定
ファイルマネージャ
コマンド検索
コマンドスケジューラ
perlモジュール検索
perl文法チェック
データベース設定
DBManager(MySQL)
サポート

Top > ユーティリティ > データベース設定

データベース設定 Help

データベースの設定情報を表示します。
データベースの設定情報の変更、DBManagerの起動ができます。

総数 1 件
[1]

データベース	データベースサーバー	ポート番号	データベース名(接続ユーザー名)	DBManager
	使用ドメイン	専用	コメント	編集
① MySQL 5	②	③	④	DBManager ⑤
			⑥	編集 ⑦

1	データベース	ご利用されているデータベース(PostgreSQL、MySQL)が表示されます。
2	データベースサーバー	データベースのサーバー名が表示されます。
3	ポート番号	データベースが使用しているポート番号が表示されます。
4	データベース名 (接続ユーザー名)	データベース名が表示されます。 接続ユーザー名は、データベース名と同じになります。
5	DBManager	データベースの管理画面に接続されます。
6	コメント	編集画面にて追加したコメントが表示されます。
7	編集	コメントの追加や、パスワードの変更を行う画面に移動します。 お客さまがご利用されているデータベース(PostgreSQL、MySQL)の接続ユーザーのログインパスワードを忘れてしまった場合、こちらで新たにパスワードを設定することができます。

DBManager (PostgreSQL)

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

Web ブラウザを使って、データベースを管理できる機能です。使用するためには、データベース設定を行う必要があります。



DB 名	データベース設定で作成した PostgreSQL のデータベース名を入力します。
パスワード	データベースに設定したパスワードを入力します。パスワードが不明な場合には、データベースの設定ガイドにて確認手順をご確認ください

DBManager (MySQL)

プラン名:ミニ、レギュラー、プロ

対象権限 :契約者、ドメイン管理者

Web ブラウザを使って、データベースを管理できる機能です。使用するためには、データベース設定を行う必要があります。ControlPanel に契約者またはドメイン管理者アカウントでログイン後、[ユーティリティ]メニュー内の[DBManager(MySQL)]をクリックします。



DB 名	データベース設定で作成した MySQL のデータベース名を入力します。
パスワード	データベースに設定したパスワードを入力します。パスワードが不明な場合には、データベースの設定ガイドにて確認手順をご確認ください。

ログインに成功すると下記の画面が表示されます。



DBManager の各メニューの操作

DBManager 内の操作につきましては、FAQにてご案内しております。

ユーザー設定	パスワード設定	テーブル操作	テーブル作成
データ入力	データ入力		テーブル削除
ユーティリティ	import 処理	検索(表示)、変更処理	テーブル初期化
	export 処理		レコード一覧
	テーブルの最適化		レコードの検索(簡易)
	database のバックアップ		レコードの検索(上級)
	database のリストア		
	database の初期化		
	SQL の発行		